

(様式4)

旅 費 支 払 伝 票

整理番号

1

令和元年度	支出科目	調査研究費	会派代表者	徳山	経理責任者	大野			
出張先	神奈川県横浜市都筑区(社会福祉法人かたるべ会)								
用務	障がい者の生きがいにつながる就労支援の取り組みについて								
期間	令和元年5月27日(月)～5月28日(火) 2日間								
出張者名	池田 謙次 神山哲太郎 大西 厚子 大野 正和 計 4名								
概算・精算金額	146,640 円		精算金額	円					
			差 額	円					
上記金額を概算・精算旅費として受領しました 受領年月日 令和元年 6月 3日			大野	上記金額を精算しました 精算年月日 平成 年 月 日		印			
旅 費 内 訳 書									
月・日	発着地		宿泊地	航空又は車賃		鉄 道		日 当	宿 泊
	種別	料金	キロ	運賃	特急				
5月27日	苫小牧	新千歳空港				29.8	680	3,000	
	新千歳空港	羽田空港	バック	26,800					
	羽田空港	川崎	バス	280					
	川崎	横浜	横浜			10.6	220		
5月28日	横浜	川崎				10.6	220	3,000	
	川崎	羽田空港	バス	280					
	羽田空港	新千歳空港							
	新千歳空港	苫小牧				29.8	680		
									食事代 1,500
小 計				27,360		1,800	0	6,000	1,500
合 計				36,660 円 × 4 名 = 146,640 円					
備 考 宿泊は1泊1食付。									
※宿泊・航空賃以外は、苫小牧市旅費規定に準じて算出しています。									

(様式 5)

支 出 伝 票

使用科目	調査研究費	会派代表者	徳	経理責任者	森	整理番号	1
領収証は別紙							
事業名、使途及び内容等 令和元年 5 月 27 日(月)～5 月 2 8 日(火) 神奈川県横浜市(社会福祉法人かたるべ会)障がい者の生きがいにつながる就労支援の 取り組みについて パック料金 航空運賃及び宿泊代 26,800 円×4 名分=107,200 円 宿泊は 1 泊 1 食付							
備考							

No 0005944403001
発行日 2019年05月21日

RECEIPT
領 収 証

公明党議員団様

¥107,200-

THE MENTIONED SUM OF MONEY IS DULY RECEIVED
上記の金額正に領収致しました。

領収日 2019年05月21日
金種 クレジットカード

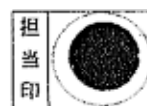
但し、航空券代及び宿泊代として

照会番号 : AF380444

ANAセールス株式会社
国内予約販売部



TEL. 092-720-8560



【社印、担当者印なきもの及び金額訂正したものは無効です】

(様式4)

旅 費 支 払 伝 票

整理番号	2
------	---

令和元年度	支出科目	調査研究費	会派代表者		経理責任者	
出張先	神奈川県横浜市都筑区(社会福祉法人かたるべ会)					
用務	障がい者の生きがいにつながる就労支援の取り組みについて					
期間	令和元年5月27日(月)～5月28(火) 2日間					
出張者名	藤田 広美					
						計 1名
概算・精算金額	8,040 円		精算金額	円		
			差 額	円		
上記金額を概算・精算旅費として受領しました 受領年月日 令和元年 6月 3日				上記金額を精算しました 精算年月日 平成 年 月 日		印
旅 費 内 訳 書						
月・日	発着地		宿泊地	航空又は車賃 種別 料金	鉄 道 キロ 運賃 特急	日 当 宿 泊
5月27日	苫小牧	新千歳空港			29.8 680	3,000
	新千歳空港	羽田空港		バック 26,800		
	羽田空港	川崎		バス 280		
	川崎	横浜	横浜		10.6 220	
5月28日	横浜	川崎			10.6 220	3,000
	川崎	羽田空港		バス 280		
	羽田空港	新千歳空港				
	新千歳空港	苫小牧			29.8 680	
						食事代 1,500
				キャンセル 8,040		
小 計				8,040	0 0	0 0
合 計				8,040 円 × 1 名 = 8,040 円		
備 考 宿泊は1泊1食付。 副議長公務のため、キャンセル。 ※宿泊・航空賃以外は、苫小牧市旅費規定に準じて算出しています。						

(様式 5)

支 出 伝 票

使用科目	調査研究費	会派代表者		経理責任者		整理番号	2
領収証は別紙							
事業名、使途及び内容等 令和元年 5 月 27 日(月)～5 月 28 日(火) 神奈川県横浜市(社会福祉法人かたるべ会)障がい者の生きがいにつながる就労支援の取り組みについて パック料金 航空運賃及び宿泊代 副議長公務のためキャンセル料金 8,040 円							
備考							

No 0005944403002
発行日 2019年05月21日

RECEIPT
領 収 証

公明党議員団様

¥8,040-

THE MENTIONED SUM OF MONEY IS DULY RECEIVED
上記の金額正に領収致しました。

領収日 2019年05月21日
金種 クレジットカード

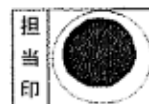
但し、取消料として

照会番号 : AF380444

ANAセールス株式会社
国内予約販売部



TEL. 092-720-8560



【社印、担当者印なきもの及び金額訂正したものは無効です】

(様式 3)

政務活動（参加・実施）報告書

令和 元年 6 月 3 日

会 派 公明党議員団

参 加 者 池田 謙次



政務活動先 (目的地)	神奈川県横浜市都筑区（社会福祉法人 かたるべ会）				
開催団体等					
政務活動期間	令和元年 5 月 2 7 日（月）～ 5 月 2 8 日（火）				2 日間
政務活動項目 (名称等)	障がい者の生きがいにつながる就労支援等の取り組みについて				
政務活動参加者	池田 謙次	神山 哲太郎	大西 厚子		
	大野 正和				計 4 名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	社会福祉法人かたるべ会の障がい者の生きがいにつながる就労支援の取り組みについて ○かたるべ会設立の経緯と沿革について 社会福祉法人かたるべ会は、横浜市（緑区・都築区・青葉区）を拠点に、知的、精神、身体に障がいのある方の就労支援・生活支援を柱に活動している社会福祉法人である。 設立の経緯は、理事長である平野氏が大学卒業後、障がい者の入所施設で指導員として就労支援にとりくんできたものの、就労先が少なかったことから、自らが中小企業の障がい者雇用担当に再就職し、障がい者を受け入れたことにはじまる。企業を退職後、自宅を障がい者の働く場とし、横浜市の補助金を受けて地域作業所「かたるべ会」を設立。2003 年社会福祉法人の認可を得て現在に至っている。沿革は次の通り。 1990 年 8 月「かたるべ社」開設（障害者地域作業所） 1994 年 4 月「第 2 かたるべ社」開設（障害者地域作業所） 「グリーンハイツ」開設（グループホーム） 1997 年 4 月「ビーンズ」開設（グループホーム） 1998 年 4 月「アムール」開設（グループホーム） 1999 年 4 月「ハイツマモル」開設（グループホーム） 2002 年 4 月「フォレスト」開設（グループホーム） 2003 年 10 月 社会福祉法人かたるべ会法人認可 2005 年 4 月「セルフフィッシュ」開設（グループホーム）				

	2009 年 4 月「アローズ」開設（グループホーム） 2009 年 8 月「第 2 ビーンズ」開設（グループホーム） 2010 年 4 月「第 3 かたるべ社」開設（地域活動支援型作業所） 「短期入所事業」開始（第 3 かたるべ社内に併設） 2011 年 2 月「第 2 グリーンハイツ」開設（グループホーム） 2012 年 3 月「アポロ」開設（グループホーム） 2013 年 3 月「ジャスパー」開設（グループホーム） 「ジャスミン」開設（授産施設） 2014 年 1 月 相談支援事業「かたるべ地域相談室」開設 3 月「マモルハウス」開設（グループホーム） 2015 年 3 月「スカイ」開設（グループホーム） 2016 年 3 月「フラット」開設（グループホーム） 2017 年 4 月「うれしの」開設（授産施設） 「放課後等デイサービス」開始（うれしの内） 2018 年 3 月「フレンズ」開設（グループホーム） ○基本理念・方針について かたるべ会は障害がある無しに関わらず、社会人として普通に暮らせる社会（ノーマライゼーション）の実現に向け活動している。また、「仕事」「生活」「余暇」という生活リズムがバランスよく保たれることを重視している。 「仕事」は社会人としての義務であり、利用者全員の積極的な仕事への参加をめざしている。適材適所の「社会的労働」を追求し、「やれることはやる」を原則に、障害の種別や程度を問わず、「社会的就労」にむけ活動している。 「生活」では経済的・精神的に自立した生活の実現を援助し、グループホームでは、結婚や子育て、一人暮らしなど、普通の生活を実現する。 「余暇」では自分の意思で、自分の時間を自由に過ごせる環境を実現。 援助のありかたとして、障害者と職員の間を含め、人と人との関係は対等であり、障害者が社会の中で普通に暮らすための援助のあり方は、「指導・教育・訓練」ではなく「おおらかな対応」と「細やかな配慮」である。 しかし、現状は大変厳しい状況であり、障害者が地域の中で普通に暮らすためには、多くの壁が存在している。かたるべ会は、その壁の一つ一つを壊しながら、普通に暮らせる環境を開拓する。その力の原動力は「現状の社会に対する強い問題意識」と、人が人として大切にしたい社会の実現をしようとする「心」と「行動力」である。 ○事業展開について かたるべ会は横浜市内に 15 か所のグループホームや 5 か所の授産施設・作業所、相談室、短期入所施設で各種事業を展開している。「第 1 かたるべ社」で生活介護。
--	--

	「第2語るべ社」で生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型。 「第3かたるべ社」で就労継続支援B型。 「ジャスミン」で就労移行支援・就労継続支援B型。 「うれしの」で生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型。うれしの児童放課後等デイサービス。 「あそび本舗」で余暇支援・移動支援。 「かたるべ地域相談室」で相談支援。 「短期入所」でレスパイトや障害の有無にかかわらず自立にむけての相談援助。 ○就労実績と職域の拡大について 就労移行支援の実績は1992年から2017年までで、97名が一般企業へ就労。 これまでの仕事内容は受注が主だったが、職域拡大に取り組み、肉まんや餃子の製造販売を行ったところ、地域で好評で良く売れたことから、「うれしの」では、おからを使った、健康に良いクッキーやピザ・お茶等の製造販売を行っている。仕事の作業内容として、調理を行うグループ、商品のタグや包装の制作を行うグループに分け、生活介護の利用者もできる仕事に参加し、作業に取り組んでいる。また、福祉と芸術の融合で、新たな仕事創出のため、プロのミュージシャンの協力を受け、利用者がイベントの出演者として仕事を行っている。利用者の皆が自分の仕事が社会に役立っていると実感できるような仕事を創出行くとともに、利用者全員の就労を目指していく。 ○所感 かたるべ会の、障がい者の生きがいに通じる就労支援の取り組みの様子を伺う事ができた。 「うれしの」では、職域の拡大の取り組みで、おからを使った食品製造での様々な工程の仕事の実際を拝見し、利用者の特性に応じた仕事の工夫が見られた。特に障がいの種別や程度によらず、できる仕事に取り組む様子に感銘を受けた。 また、イベントなどへ出張しての自社製造の食品販売や、イベントの演目の出演の様子を伺い、本法人の職域の拡大・創造への、積極的で先見的な取り組みが、利用者の生きがいに通じる就労支援に繋がっていると感じた。 本市においても、障がい者の就労支援の拡大充実にむけて、かたるべ会の取り組みは大いに参考になるものとする。
資料名（会派保管）	『社会福祉法人 かたるべ会』

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--

(様式4)

旅 費 支 払 伝 票

整理番号

3

令和元年度	支出科目	調査研究費	会派代表者	神山	経理責任者	大野				
出張先	埼玉県さいたま市(コクーン保育園)									
用務	企業主導型保育園の取り組みについて(現地視察を含む)									
期間	令和元年6月6日(木)～6月7(金) 2日間									
出張者名	池田 謙次 神山哲太郎 大西 厚子 藤田 広美 計 4名									
概算・精算金額	224,420 円		精算金額	円						
			差 額	円						
上記金額を概算・精算旅費として受領しました 受領年月日 令和元年 6月 10日			大野	上記金額を精算しました 精算年月日 平成 年 月 日		印				
旅 費 内 訳 書										
月・日	発着地		宿泊地	航空又は車賃		鉄 道			日 当	宿 泊
				種別	料金	キロ	運賃	特急		
6月6日	苫小牧	新千歳空港				29.8	680		3,000	
	新千歳空港	羽田空港		ヒ	16,760					
	羽田空港	東京		モ	650					
	東京	さいたま新都心	さいたま			28.7	470			9,150
6月7日	さいたま新都心	東京				28.7	470		3,000	
	東京	羽田空港		モ	650					
	羽田空港	新千歳空港		ヒ	18,960					
	新千歳空港	苫小牧				29.8	680			
										食事代 1,500
小 計					37,020		2,300	0	6,000	10,650
合 計				55,970 円 × 4名 + 540円(事務手数料) = 224,420円						
備 考 宿泊は1泊1食付。										
※宿泊・航空賃以外は、苫小牧市旅費規定に準じて算出しています。										

(様式 5)

支 出 伝 票

使用科目	調査研究費	会派代表者		経理責任者		整理番号	3
------	-------	-------	---	-------	---	------	---

No. 3607458-1

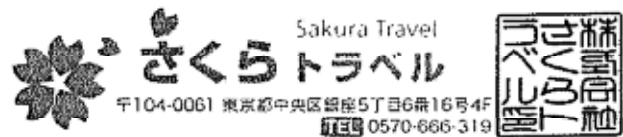
領 収 書

公明党議員団 様

¥143,420

但し、航空券代金として
2019年5月29日
上記正に領収いたしました。[クレジット]

[電子領収書につき印紙不要]



事業名、使途及び内容等

令和元年 6 月 6 日 (木) ~ 6 月 7 日 (金)

埼玉県さいたま市 (コクーン保育園) 企業主導型保育園の取り組みについて

航空券代金 35,720 円 × 4 名 + 事務手数料 540 円 = 143,420 円

備考

(様式5)

支 出 伝 票

使用科目	調査研究費	会派代表者	神	経理責任者	野	整理番号	3
------	-------	-------	---	-------	---	------	---

2019/06/06

領 収 証

領収証名 公明党議員団 様

領収金額 ￥36,600-
(内消費税)

但し、ご宿泊代金として上記金額を
現金で領収しました。

APA HOTELS&RESORTS
アパホテル<さいたま新都心駅北>

〒330-0843
埼玉県さいたま市大宮区吉敷町2-72
TEL:(048)650-1111
FAX:(048)650-1146

担当者



190606000312431

収入印紙

事業名、使途及び内容等

令和元年 6 月 6 日(木)～6 月 7 日(金)

埼玉県さいたま市(コクーン保育園)企業主導型保育園の取り組みについて

アパホテルさいたま新都心駅北 宿泊代金 9,150 円×4 名=36,600 円 宿泊は1泊1食付

備考

(様式 3)

政務活動（参加・実施）報告書

令和 元年 6 月 14 日

会 派 公明党議員団

参 加 者 池田 謙次



政務活動先 (目的地)	埼玉県さいたま市大宮区(コクーン保育園)				
開催団体等					
政務活動期間	令和元年 6 月 6 日(木)～ 6 月 7 日(金)				2 日間
政務活動項目 (名称等)	企業主導型保育園の取り組みについて				
政務活動参加者	池田 謙次	神山 哲太郎			
	大西 厚子	藤田 広美			計 4 名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	<開園の経緯について> コクーン保育園は JR さいたま新都心駅に隣接した企業主導型保育園である。さいたま新都心駅前の商業施設「コクーンシティ」の開発を推進してきた片倉工業が、子育てをしながら働く従業員の活躍支援や、出産・育児休暇を取得した従業員のスムーズな復帰を図る事を目的に 2018 年 4 月に開園。 さらに、企業主導型保育園の要件である、受け入れ対象が従業員に限らず、コクーンシティのテナントや提携企業、地域住民の利用も可能なことから、地域の待機児童の解消や女性の就業環境整備のために資する保育施設として、子育て支援の拠点を目指すものである。 <施設概要> ・定員：30 名程度（従業員・提携企業枠、地域枠の合計） ・対象年齢：生後 57 日～5 歳児まで ・開園時間：8：00 ～ 21：00 ・保育料金（税別） 登園日数 16 日以上(月額料金) 0～2 歳児：39,000 円、3 歳児：34,500 円、4・5 歳児：32,000 円 登園日数 15 日以下(1 日料金) 0～2 歳児：2,600 円、3 歳児：2,300 円、4・5 歳児：2,200 円				

	<運営方針> 1 安全で安心できる保育環境を整え、生きる力（喜び）をはぐくみます。 2 養護と教育を一体的に行い、子どもの発達を支援します。 3 子育ての悩みや相談に応じ助言するなど、保護者と共に心豊かな子育てを目指します。 4 地域における子育て支援の拠点として、地域の子育て力の向上に努めます。 <保育目標> 1 感謝の心を忘れない「利他」の心を持った子ども 2 のびのびと自分を表現できる子ども 3 心身ともに豊かな子ども <保育内容> 1 教育 通常の生活の他に英会話や外部講師によるリトミックを行っており、手遊びをしたり歌ったり、音感やリズム感を育み、子ども達一人ひとりが、その子の好きな事を見つけられるようにサポートしている。 2 安全 子どもたちが、安心して元気いっぱいに活動できるように、立地も考慮しオートロックキーで不審者対策をしている。毎月、避難訓練を実施。 3 食育 一番の成長期のこの時によく食べてよく遊び、よく寝るという当たり前の事を大切にしている。年齢に応じた食育体験を通して、「食」に興味をもち、食べることの楽しさを育んでいる。また、給食を提供しておりアレルギー食にも対応している。 <所見> 特に、駅前の商業施設に隣接したニーズが高い立地とも考えられる本保育園の取り組みに、関心を持って視察させて頂いた。商業施設が大きく展開されている駅前での設立の経緯をお聞かせ頂き、企業主導型保育園の待機児童解消や女性の就業環境整備に資する役割は大きいものがあるとの認識を深めた。また、保育士確保の面で、企業としての、保育士の収入面の処遇改善の取り組みで、保育の充実を目指す取り組みの様子もお聞きする事ができた。苫小牧市においても企業主導型保育園の取り組みがあるが、利用者のニーズに沿った更なる充実と拡大が望まれるところである。 <table border="1" data-bbox="464 1794 1423 1879"> <tr> <td data-bbox="464 1794 746 1879">資料名（会派保管）</td><td data-bbox="746 1794 1423 1879">『コクーン保育園 ご入園をご希望の皆様へ』</td></tr> </table>	資料名（会派保管）	『コクーン保育園 ご入園をご希望の皆様へ』
資料名（会派保管）	『コクーン保育園 ご入園をご希望の皆様へ』		

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--

支 出 伝 票

使用科目	資料購入費	会派代表者	建	経理責任者	郵	整理番号	4
------	-------	-------	---	-------	---	------	---

領 収 証

No. _____

21 年 6 月 18 日

公明党議員団様

¥ 2,000-

但 資料代金

上記金額正に領収いたしました

NPO法人街のお助け隊

理事長 青 木

東京都品川区中延3

TEL 080-5892-0039

内 訳	
税抜金額	
消費税額 (%)	

事業名、使途及び内容等

東京都品川区 (NPO 法人 街のお助けコンセルジュ) 商店街の取り組みについて (現地視察を含む)

視察資料『有償ボランティアとは NPO 法人街のお助け隊コンセルジュ』購入

2,000 円 × 5 名 = 10,000 円 (税込み) 領収証は 1 名分 2,000 円が 5 枚

備考

(様式5)

支 出 伝 票

使用科目	資料購入費	会派代表者	印	経理責任者	印	整理番号	4
------	-------	-------	---	-------	---	------	---

領 収 証

No. 21 年 6 月 18 日

公明堂議員団 様

¥ 2,000-

但

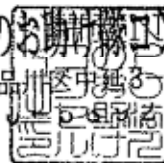
資料代として

上記金額正に領収いたしました



内 訳	
税抜金額	
消費税額 (%)	

NPO法人街のお助け隊コンサルジュ
 〒142-0053 品川区中延3-7-9-101
 TEL 03-3541-0039



事業名、使途及び内容等

東京都品川区（NPO 法人 街のお助けコンサルジュ）商店街の取り組みについて（現地視察を含む）

視察資料『有償ボランティアとは NPO 法人街のお助け隊コンサルジュ』購入

2,000 円 × 5 名 = 10,000 円（税込み） 領収証は 1 名分 2,000 円が 5 枚

備考

支 出 伝 票

使用科目	資料購入費	会派代表者	経理責任者	整理番号	4
------	-------	-------	-------	------	---

領 収 証

No. 21 年 6 月 18 日

公明堂議員団様

¥2,000円

但 資料代と12

上記金額正に領収いたしました

内 訳

税抜金額	
消費税額 (%)	

NPO法人街のお助け隊コンサルジュ

〒142-0053 品川区中延3-9-101

TEL 03-3538-0039

事業名、使途及び内容等

東京都品川区（NPO 法人 街のお助けコンサルジュ）商店街の取り組みについて（現地視察を含む）

視察資料『有償ボランティアとは NPO 法人街のお助け隊コンサルジュ』購入

2,000 円×5 名＝10,000 円（税込み） 領収証は 1 名分 2,000 円が 5 枚

備考

(様式5)

支 出 伝 票

使用科目	資料購入費	会派代表者		経理責任者		整理番号	4
------	-------	-------	---	-------	---	------	---

領 収 証

No. 5/ 年 6 月 18 日

公明党議員団 様

新井のP.O. 野村

¥2,000

但 資料代

上記金額正に領収いたしました

内 訳	
税抜金額	
消費税額 (%)	

NPO法人街のお助け隊 コンセルジュ

〒142-0053 品川区中延3-9-101

TEL 03-3508-0039

事業名、使途及び内容等

東京都品川区（NPO 法人 街のお助けコンセルジュ）商店街の取り組みについて（現地視察を含む）

視察資料『有償ボランティアとは NPO 法人街のお助け隊コンセルジュ』購入

2,000 円 × 5 名 = 10,000 円（税込み） 領収証は 1 名分 2,000 円が 5 枚

備考

支 出 伝 票

使用科目	資料購入費	会派代表者	印 経 理 責 任 者	整理番号	4
------	-------	-------	-------------	------	---

領 収 証

No. 9/ 年 6 月 8 日

公明堂議員団 様

領 収 証

の 印

の 印

の 印

の 印

¥2,000-

但 資料代として

上記金額正に領収いたしました

内 訳	
税抜金額	
消費税額 (%)	

NPO法人街のお助けコンセルジュ

〒142-0053 品川區中延3-7-9-101

TEL 0000 0000 0000

事業名、使途及び内容等

東京都品川区（NPO 法人 街のお助けコンセルジュ）商店街の取り組みについて（現地視察を含む）

視察資料『有償ボランティアとは NPO 法人街のお助け隊コンセルジュ』購入

2,000 円 × 5 名 = 10,000 円（税込み） 領収証は 1 名分 2,000 円が 5 枚

備考

(様式4)

旅 費 支 払 伝 票

整理番号

5

令和元年度	支出科目	調査研究費	会派代表者		経理責任者					
出張先	東京都品川区(NPO法人 街のお助け隊コンサルジュ)									
用務	商店街の取り組みについて(現地視察を含む)									
期間	令和元年6月17日(月)～6月18日(火) 2日間									
参加者名	池田 謙次 神山 哲太郎 大西 厚子 藤田 広美 大野 正和 計 5名									
概算・精算金額	226,800 円		精算金額	円						
			差 額	円						
上記金額を概算・精算旅費として受領しました 受領年月日 令和元年 6月 25日				上記金額を精算しました 精算年月日 平成 年 月 日		印				
旅 費 内 訳 書										
月・日	発着地		宿泊地	航空又は車賃		鉄 道			日 当	宿 泊
				種別	料金	キロ	運賃	特急		
6月17日	苫小牧	新千歳空港				29.8	680		3,000	
	新千歳空港	羽田空港		バック	35,200					
	羽田空港	東京	東京	モ	650					
6月18日	東京	羽田空港		モ	650				3,000	
	羽田空港	新千歳空港								
	新千歳空港	苫小牧				29.8	680			
										食事代 1,500
小 計					36,500		1,360	0	6,000	1,500
合 計				45,360 円 × 5 名 = 226,800 円						
備 考 宿泊は1泊1食付。 ※宿泊・航空賃以外は、苫小牧市旅費規定に準じて算出しています。										

(様式 5)

支 出 伝 票

使用科目	調査研究費	会派代表者		経理責任者		整理番号	5
領 収 証 No. Web190709123656 発行日: 2019年07月09日 公明党議員団 様 ¥176,000- お支払い方法: クレジット決済 但し、航空券代および宿泊代として 上記金額 正に領収いたしました。 ANAセールス株式会社 〒103-0027 東京都中央区日本橋2-14-1 フロントプレイス日本橋  AG854405 ①お客様用							
事業名、使途及び内容等 令和元年 6 月 17 日(月)～6 月 18 日(火) 東京都品川区(NPO 法人 街のお助けコンセルジュ)商店街の取り組みについて(現地視察を含む) バック料金 航空券代及び宿泊代 35,200 円×5 名分=176,000 円 宿泊は 1 泊 1 食付 備考							

(様式 3)

政務活動（参加・**実施**）報告書

令和 元年 6 月 25 日

会 派 公明党議員団

参 加 者 池田 謙次



政務活動先 (目的地)	東京都品川区 (NPO 法人 街のお助け隊コンセルジュ)				
開催団体等					
政務活動期間	令和元年 6 月 17 日 (月) ~ 6 月 18 日 (火)			2 日間	
政務活動項目 (名称等)	商店街の取り組みについて (現地視察も含めて)				
政務活動参加者	池田 謙次	神山 哲太郎			
	大西 厚子	大野 正和	藤田 広美		計 5 名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	＜中延商店街の活性化に向けた取り組みの概要＞ ・中延商店街は東急池上線「荏原中延」駅から東急大井町線・都営浅草線「中延」駅に伸びる約 330 メートルの商店街である。 ・東急池上線の開通とともに、昭和 2 年から発展し、アーケード、カラー舗装、組合会館等のハード面の整備や、各種イベントの実施、ポイントカード導入などのソフト事業に積極的に取り組んできた。 ・商店街には肉、魚、八百屋の生鮮 3 品や、カフェ、レストラン、パン、精米、衣料品、インテリアショップ、また、近年は医院や治療院、調剤薬局なども参入するなど、地域住民の生活を支える商店街となっている。 ・本商店街の半径 700 メートル内には、約 1 万人近い高齢者が住むことから、高齢者対応が街づくりの最大の課題と考え、商店街活性化に向けて、高齢者にやさしい街づくりを目指しての取り組みを進めてきた。 ・地域の高齢者が商店街で世間話をしながら買物したり、親しい友達と食事や情報交換したり、元気なうちはボランティアで汗を流し、困った時はご近所の人々が助けてくれる……。そんな住民の人間関係を築く基盤となる商店街を実現するために、地域通貨を使った有償ボランティアサービス、街のお助け隊コンセルジュを中延商店街に導入した。 ＜街のお助け隊コンセルジュの取り組み内容＞ ・地元の高齢者のちょっとした困りごとに、元気な高齢者が中心と				

なった有償ボランティアが支援する仕組み。

対応する内容は次の通り。

*庭木の剪定・枝払い・除草

*電球交換

*家事や洗濯

*買物代行・補助

*エアコンや換気扇の清掃

*台所・浴室・トイレの清掃

*襖・障子・クロスの張替え

*網戸作成・網戸張替え

*ペンキ塗装

*水道やトイレの故障

*屋根の補修（雨どいも）

*家具の移動

*その他

・ちょっとしたボランティアで人の役に立ちたいと思う人をコンセルジュとして登録。その対価は区内共通商品券で支払われる。

・利用したい人は1枚1,000円のクーポン券綴を購入し、受けたサービスに応じてクーポン券で支払う。

・クーポン券は500円の共通商品券に交換され、差額の500円は運営資金に。商品券は地元で使われ、商店街にも貢献するという「地域循環型のシステム」である。

・有償ボランティアに登録する人も利用する人も、商店街の半径700m内に住む地元の住民に限定。商店街店主も人柄などをよく知っている顔なじみで、身元がはっきりしているため、利用者も安心して活用することができる。

・商店街には来街者が気軽に立ち寄れる交流施設「街中サロン」も併設し、ここを溜まり場にパソコンや絵画教室、講演会、商店街の商品を使った料理教室など、定休日の水曜以外はフル稼働している。

〈取り組みの効果〉

・高齢者をはじめとした周辺住民たちからは中延商店街は面白い、いいことをしているとの声が多い。コンセルジュ利用者からは、大変感謝し満足しているとの声も多く、ボランティア側としては、活動しながら励まされたり、楽しませてもらったり人間的なふれあいがうれしく思う、生涯現役でいることができるなどの声がある。

・当商店街の会員向けに実施したアンケート調査の結果から、取り組みが売上げアップにダイレクトにつながっているとは言えない。しかし、高齢化している顧客に対して、品揃えの工夫、値札の見やすさの工夫、サービス方法の工夫などに力を入れるようになり、会員がどのように商売をしていけばいいのか、現状を改めて見つめ直し考える動機付けとなっており、この事業が会員の意識改革に与えた影響は大変大きい。

	<事業の課題> ・急速な高齢化に際して、商店街自体が高齢者に配慮する必要がある。各店頭に何処にでもある商品を陳列し、顧客への訴求も従前どおりでは、顧客にとって魅力がないことになる。商店街の目標として掲げる「高齢者にやさしい商店街」への実現に向け、個店、商店街、または地域に何が不足していてどのようなニーズがあるのかを把握し、そのニーズにどのように応えていくのかをしっかりと考えていく商業者個々の弛まなく努力する姿勢そのものが今後問われていく。 ・商店街の目先の売り上げばかり議論しても街は再生しない。まずは地域の住民が喜ぶことが大事。その結果として商店街が潤う。その仕組みにはボランティアの精神が欠かせない。 <所見> 商店街活性化の最大の課題を、高齢者対応であると捉えた着眼点が、「高齢者にやさしい街づくり」の成功の鍵であると感じた。また「商店街の目先の売り上げばかり議論しても街は再生しない。地域の住民が喜ぶことが大事。その結果として商店街が潤う。ボランティアの精神が欠かせない。」との言葉が示唆に富んでいると感じた。 街のお助け隊コンセルジュの取り組みは、高齢化がさらに進む時代においての商店街活性化に大いに参考になるものである。 苫小牧市においても、商店街活性化、街中の賑わい創出・再生が問われているが、若者をはじめ高齢者を街中に呼び込む取り組みは、環境整備とあわせ、利用者本位に立ち返る事、弛まなく努力する姿勢が重要であると感じる。		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="470 1585 751 1789">資料名（会派保管）</td><td data-bbox="751 1585 1426 1789">『有償ボランティアとは NPO 法人街のお助け隊コンセルジュ』</td></tr> </table>	資料名（会派保管）	『有償ボランティアとは NPO 法人街のお助け隊コンセルジュ』
資料名（会派保管）	『有償ボランティアとは NPO 法人街のお助け隊コンセルジュ』		

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--

(様式5)

支 出 伝 票

使用科目	資料購入費	会派代表者		経理責任者		整理番号	6
------	-------	-------	---	-------	---	------	---

領 収 証 No.1242
2019年 8月23日

公明党議員団 様

金1,728円 但し フラノマルシェの奇跡
書籍代として

上記正に領収いたしました

(税抜金額)	¥1,600)
(消費税等)	¥128)



**FURANO
MARCHE**
souvenir shop
ARGENT



事業名、使途及び内容等

富良野市中心市街地活性化基本計画について (現地視察を含む)

視察資料書籍『フラノマルシェの奇跡』購入 1,728円×1冊=1,728円(税込み)

備考

(様式4)

旅 費 支 払 伝 票

整理番号

7

令和元年度	支出科目	調査研究費	会派代表者	神	経理責任者	大野			
出張先	富良野市(富良野市議会)								
用務	富良野市中心市街地活性化基本計画について(現地視察を含む)								
期間	令和元年8月23日(金) 1日間								
参加者名	神山 哲太郎 大西 厚子 藤田 広美 大野 正和 計 4名								
概算・精算金額	59,440 円		精算金額	円					
			差 額	円					
上記金額を概算・精算旅費として受領しました 受領年月日 令和元年 8 月 30日			大野	上記金額を精算しました 精算年月日 平成 年 月 日		印			
旅 費 内 訳 書									
月・日	発着地		宿泊地	航空又は車賃		鉄 道	日 当	宿 泊	
				種別	料金	キ口	運賃	特急	
8月23日	苫小牧	札幌				71.2	3,670	1,130	3,000
	札幌	富良野				83.5		1,130	
	富良野	札幌				83.5	3,670	1,130	
	札幌	苫小牧				71.2		1,130	
									食事代 0
小 計					0		7,340	4,520	3,000 0
合 計				14,860 円 × 4 名 = 59,440 円					
備 考									
※宿泊・航空賃以外は、苫小牧市旅費規定に準じて算出しています。									

(様式3)

政務活動（参加・**実施**）報告書

令和 元年 8 月 30 日

会 派 公明党議員団

参 加 者 神山哲太郎



政務活動先 (目的地)	富良野市				
開催団体等					
政務活動期間	令和元年8月23日(金)				1日間
政務活動項目 (名称等)	富良野市中心市街地活性化基本計画について				
政務活動参加者	神山哲太郎	大西厚子			
	大野正和	藤田広美			計 4 名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	《富良野市中心市街地活性化基本計画の事業概要とこれまでの取り組みについて》 1、富良野市中心市街地の課題 「富良野都市計画事業」、「富良野駅前地区土地区画整理事業」における、富良野市中心市街地の事業面積は4.2ha。対象地内にあった北海道社会事業協会富良野病院の移転等を契機に空き地・未利用地が増大。商店街の衰退（売上減・後継者難・店舗の減少・にぎわいの喪失）や、まちなか居住の人口の減少（コミュニティの崩壊）等、市中心市街地の魅力喪失が大きな課題となった。 2、市中心市街地活性化に向けた取り組みにおける市の役割について ①コンパクトなまちづくりを行っていくという、ブレのない政策を展開する（＝都市機能の適正立地、市中心市街地への重点投資）。 ②民間の投資を後押しするような仕組みづくりをする。 ③市中心市街地活性化は商店街の活性化ではなく、まちづくりであり、計画策定・事業実施において、市の都市関係部局の参加が必須である。 ④市中心市街地を持続可能なまちとするために、絶えず投資が行われることが必要であり、市中心市街地が投資に値する魅力ある空間であり続けるために、ソフト・ハードの両面から取り組む事が重要である。 ⑤多様なステークホルダーによる、様々な都市活動を円滑に進めるために、調整役（市中心市街地活性化協議会）が必要である。				

⑥多様な都市活動を持続可能とするための街づくりを行う事業主体（まちづくり会社）が必要である。

3、まちづくり会社について

2006年に改正された「まちづくり三法」では、国の方針として、中心市街地の再生・活性化をはかりつつ利便性と機能性が集積されたコンパクトなまち＝「コンパクトシティ」を目指すことになり、「まちなかのにぎわい復活」「まちなか居住の推進」「商店街の再生」「コミュニティの再生」があらたなまちづくりのテーマになった。特筆すべきは、新たな「中心市街地活性化基本計画」の策定にあたっては、民間を主体とする法定協議会を立ち上げ、民間が中心となって計画立案を行うこと、経済産業省の補助金は、自治体を經由せずに事業主体となる民間会社がその受け皿となることである。

そこで、まちづくりを持続可能なものにするために、中心市街地活性化事業の推進母体として、市内の既存の「まちづくり会社」を改革する。

公的性格を有する「まちづくり会社」は、国の補助金や制度資金の受け皿となり事業主体となってまちづくりを推進する。複合施設のオーナーとなりシーリング収入や売り上げマージン収入などで収益を上げながら中心市街地の活性化事業に再投資、中心市街地活性化に向けた開発事業を行政との協働により継続的に行う。

4、「まちづくり株式会社」の改革について

- ・資本金の増強 資本金 1,035 万円から 8,350 万円へ。
- ・商工会議所会員を中心に 64 の企業・団体・個人が出資。
- ・市には増資を求めず（100 万円のまま）。
- ・商工会議所役員で経営責任を持つ体制。

5、富良野市中心市街地活性化基本計画の事業概要について

①まちなかのにぎわい促進

【フラノマルシェ整備】

駅北に移転した富良野協会病院跡地を活用しブランドイメージの高い富良野の食材（野菜等）や加工食品（乳製品）の販売、飲食等の店舗やフリーマーケット等イベント実施のための多目的広場を整備。国道沿いの玄関口拠点として機能。

【ネーブル・タウン整備】

商店街とその周辺の低未利用地等を市街地再開発事業により一体的に開発しスーパー銭湯・高齢者住宅、クリニック、店舗、事務所、住宅等を整備する事により商店街の再生を推進。

【サンライズ・パーク整備】

百貨店「くにい」跡地を開発し、大型バスも駐車可能な「まちなか駐車場」やポケットパークを整備し、そこを起点として、レンタサイクルを活用した「まちなかパーク＆ライド」を推進。

【ギャラリロード】

- ・市内に在住するプロ・アマ様々な芸術家の作品を各商店街のショーウィンドウに展示し、通りの魅力向上。
- ・まちを紹介するジャンル別マップ・ロコミマップの作成や、Q

Rコード等による情報発信、各種イベントを開催。

②まちなか居住促進

・空き地を活用した集合住宅等建設促進のため、商店街、不動産業者、金融機関等で構成する「まちなか居住推進会議」を設置し情報交換、窓口相談を実施。

③共同住宅建設等の推進

・東4条街区地区市街地再開発事業。

商業施設（フラノマルシェ2等）や認可保育所、高齢者マンション等を集積し、歩いて用がたせる利便性に富んだ市街地を創出。

・富良野市東5条3丁目街区地区市街地再開発事業

老朽化した既存商業店舗の再集積に合せ、金融機関及び行政サービス施設を誘致。

・まちなか共同住宅建設事業

子育て世代を入居対象とした共同住宅。

・サービス付き高齢者向け住宅建設事業

前期計画事業で入居出来なかった希望者の需要に応じ新たに建設。

④滞留拠点施設整備とまちなか情報の発信による回遊促進

・サンライズ・パーク（仮称開発事業）（再掲）

商店街に隣接した場所に大型バスも駐車できる「まちなか駐車場」配置。

・まちなかパーク&ライド事業

「まちなか駐車場」に隣接し、高齢者、観光客に電動三輪車、自転車を提供。

⑤富良野イベントコーディネート事業

・ふらのまちづくり（株）が各種商店街事業及び各種イベント事業をトータル的にコーディネートし、市民・マスメディアへの広報・PR活動により、来街者を増やし回遊を促進させる。

《中心市街地活性化事業の成果について》

フラノマルシェの来場者数は、平成30年度120万4,918人（フラノマルシェ2を含む）と3年連続で120万人を突破し、まちなかのにぎわいと活気を生み出す原動力として機能している。

また空きビル再生事業として着手した「フラノ・コンシェルジュ整備事業」が平成30年度事業完了し、「コンシェルジュフラノ」として、従前の百貨店から複合多機能ビルへと生まれ変わり、新たな核拠点が加わった。本施設の機能の一部である簡易宿泊施設「TOMAR（トマル）」においては、宿泊者数が1万3,380人を数え、駅前地区の新たな賑わい創出に大きく寄与している。

本施設の周辺部においても、飲食系空き店舗が再度飲食店舗としてリニューアルオープンした店舗をはじめ、夜のみ営業していた飲食系店舗が、店舗名変更と合わせて営業時間を日中からの営業に時間変更した店舗や事務所兼喫茶店が新規開業した。更には、宿泊収

	容客約 200 人を有する大型ホテルの建設が着工されるなど、エリアの様相が徐々に変化してきている状況である。 このように、変化し続ける中心市街地が対外的にも評価されており、中心市街地内商業地の路線価及び基準地価共に5年連続しての上昇となり、路線価においては、上昇前と比較すると約27%の上昇となり、地方都市の地価下落が止まらない中で、お互いの役割分担に基づく富良野流官民連携による取り組みの大きな成果となって現れてきている。 《所見》 中心市街地活性化の取り組みの先進地である富良野市を視察し大変に参考になった。特に、「まちづくり株式会社」の積極的な取り組みと、市の緻密な計画と仕掛けによる協働の取り組みが大きな成果になったものと思う。 苫小牧市においての中心市街地の活性化は、「まちなか再生総合プロジェクト（CAP3）」により推進されているが、特に駅前再開発に関しては保留事項もあり未だ進展は見られない。「CAP3」には、「都市機能の拡散傾向に歯止めをかけ、多くの人々が暮らしやすい、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを進めていかなければならない。新たな場所にまちの核を整備するよりも、今あるまちなかの機能をしっかりと守り、拡充させることが効率的と考える。このような背景、経過を踏まえ、将来を見据えたまちづくりの実現をめざす。」とある。今年度で計画期間が終了する「CAP3」であるが、次期計画の充実に向けての取り組みが求められる。合せて「まちづくり三法」に基づく官民協働の取り組みとなるように、志ある民間の発掘も視野に入れなければならないのではないかと考える。		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="467 1541 751 1749">資料名（会派保管）</td><td data-bbox="751 1541 1426 1749"> ・『新中活法に基づいたまちづくり会社による事業計画』 ・『まちづくりCASE北海道富良野市20』 ・『フラノマルシェ1 フラノマルシェ2』 ・書籍『フラノマルシェの軌跡』 </td></tr> </table>	資料名（会派保管）	・『新中活法に基づいたまちづくり会社による事業計画』 ・『まちづくりCASE北海道富良野市20』 ・『フラノマルシェ1 フラノマルシェ2』 ・書籍『フラノマルシェの軌跡』
資料名（会派保管）	・『新中活法に基づいたまちづくり会社による事業計画』 ・『まちづくりCASE北海道富良野市20』 ・『フラノマルシェ1 フラノマルシェ2』 ・書籍『フラノマルシェの軌跡』		

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--

(様式4)

旅 費 支 払 伝 票

整理番号	8
------	---

令和元年度	支出科目	調査研究費	会派代表者		経理責任者					
出張先	石狩市(道の駅石狩「あいろ一ど厚田」)									
用務	道の駅石狩「あいろ一ど厚田」の概要について(現地視察を含む)									
期間	令和元年8月27日(火) 1日間									
参加者名	池田 謙次 神山哲太郎 大西 厚子 藤田 広美 藤田 広美 計 5名									
概算・精算金額	51,000 円		精算金額	円						
			差 額	円						
上記金額を概算・精算旅費として受領しました 受領年月日 令和元年 9月 4日				上記金額を精算しました 精算年月日 平成 年 月 日		印				
旅 費 内 訳 書										
月・日	発着地		宿泊地	航空又は車賃		鉄 道			日 当	宿 泊
				種別	料金	キロ	運賃	特急		
8月27日	苫小牧	札幌				71.2	1,140	1,130	3,000	
	札幌	石狩		バス	1,330					
	石狩	札幌		バス	1,330					
	札幌	苫小牧				71.2	1,140	1,130		
小 計					2,660		2,280	2,260	3,000	0
合 計				10,200 円 × 5 名 = 51,000 円						
備 考										
※宿泊・航空賃以外は、苫小牧市旅費規定に準じて算出しています。										

(様式 3)

政務活動（参加・実施）報告書

令和 元年 9 月 4 日

会 派 公明党議員団

参 加 者 池田 謙次



政務活動先 (目的地)	石狩市				
開催団体等					
政務活動期間	令和元年 8 月 27 日 (火)				1 日間
政務活動項目 (名称等)	道の駅石狩「あいろーど厚田」の概要について (現地視察含む)				
政務活動参加者	池田 謙次	神山 哲太郎	大西 厚子		
	大野 正和	藤田 広美			計 5 名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	《道の駅石狩「あいろーど厚田」の概要》 ○平成30年4月27日、石狩市厚田区の国道231号線沿いに、厚田区あいろーどパーク内にオープン。 ○地域の農海産物を活用した飲食・テイクアウトサービス、歴史・文化・自然情報の発信、子ども広場の開設などのサービスの提供を行っている。 ○この道の駅は、開設に向けて、地域住民の論議の積み重ねから導き出された「近説遠来」の思想による地方創生の拠点となるものとして、平成27年1月に国土交通省より「重点道の駅」に選定されている。 ○敷地面積 34,472 m²。建物構造鉄筋コンクリート3階建て。建築面積 794 m²、延べ床面積 1,333 m²、総事業費：約 14 億円、駐車場収容台数 200 台 ○運営会社：株式会社あい風 《各フロアの概要》 ○1F 石狩の味覚と地域情報のフロア ・エントランスにはエレベーターとエスカレーターを設置 ・地場産品販売コーナー：石狩のものが全て揃うショップ 国内友好都市の、沖縄県恩納村や石川県輪島市の産品もある ・飲食テナントショップ：一年を通して営業する飲食テナントショップ。十割そばをはじめ、地域の食材にこだわった自慢の料理を提供。				

	・24時間トイレ、24時間開放スペース、オストメイト対応トイレ1器・おむつ交換シート1台 ・道路情報コーナー ・バス待合スペース ○2F 歴史と食のフロア ・文学・芸術コーナー：厚田や周辺地域の歴史と文化を紹介 ・自然・歴史展示コーナー：聚富原生花園や厚田の海岸に生息するカシワ林等、厚田や浜益の見どころを紹介。石狩市全域地形のジオラマ、「北前船とニシン漁」をテーマとした展示 ・飲食テナントショップ：地元素材にこだわった料理を提供。飲食スペースから日本海の風景が楽しめる。「Bakery&Pizza HOME」焼きたてのパンとピザを提供する。ピザは地元の望来豚やタコを使ったピザが人気。「Lico Lico 厚田店」道内で数店舗を展開するジェラートショップ。厚田の海をイメージした「厚田ブルー」、浜益の100年リンゴのジェラートが人気。「石狩ニシー」地元で獲れたニシンと数の子を使ったボリューム満点の「ニシンパッテラ」が人気。 ○3F 展望フロア&デッキ 日本海に沈む夕日を楽しむことができる。 《入込客数の推移》 ・開設初年度の2018年は、612,702人。本年、4月から7月まで、初年度の6割から7割で定着しており、今後もこの数で推移するとみている。 《所見》 国土交通省より「重点道の駅」に選定されている道の駅を視察し、エレベーター・エスカレーターが併設されているなど施設が充実して素晴らしい道の駅だった。物産の販売のみではなく、道の駅内に文学・芸術コーナーや自然・歴史展示コーナーが設置されており非常に良い取り組みと感じた。これからの観光は、食のみではなく、ご当地ならではの歴史、文化に触れる事も観光客の満足につながるものとする。また、地域住民により論議を重ねて開設に至ったことは、素晴らしい取り組みである。		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="466 1624 750 1792">資料名（会派保管）</td><td data-bbox="750 1624 1426 1792"> ・道の駅石狩「あいろーど厚田」 ・北海道石狩国 石狩宝自慢 ・道の駅石狩「あいろーど厚田：入込客推移 </td></tr> </table>	資料名（会派保管）	・道の駅石狩「あいろーど厚田」 ・北海道石狩国 石狩宝自慢 ・道の駅石狩「あいろーど厚田：入込客推移
資料名（会派保管）	・道の駅石狩「あいろーど厚田」 ・北海道石狩国 石狩宝自慢 ・道の駅石狩「あいろーど厚田：入込客推移		

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--

(様式4)

旅 費 支 払 伝 票

整理番号

9

令和 元年度	支出科目	調査研究費	会派代表者		経理責任者	
政 務 活 動 先	勇払郡厚真町(厚真町議会)					
用 務	あつま災害エフエムの概要について					
期 間	令和元年9月20日(金) 1日間					
参 加 者 名	神山哲太郎 計 1名					
概算・精算金額	4,840 円		精算金額	円		
			差 額	円		
上記金額を概算・精算旅費として受領しました 受領年月日 令和元年9月24日				上記金額を精算しました 精算年月日 平成 年 月 日		印
旅 費 内 訳 書						
月・日	発着地		宿泊地	航空又は車賃 種別 料金	鉄 道 キロ 運賃 特急	日 当 宿 泊
9月20日	苫小牧	早来			23.1 450	3,000
	早来	厚真			9.9 470	
	厚真	早来			9.9 470	
	早来	苫小牧			23.1 450	
						食事代 0
小 計				0	1,840 0	3,000 0
合 計				4,840 円 × 1 名 = 4,840 円		
備 考 ※宿泊・航空運賃以外は、苫小牧市旅費規程に準じて算出しています。						

(様式3)

政務活動（参加・**実施**）報告書

令和元年9月24日

会 派 公明党議員団

参 加 者 神山哲太郎



政務活動先 (目的地)	厚真町役場				
開催団体等					
政務活動期間	令和元年9月20日(金)			1日間	
政務活動項目 (名称等)	あつま災害エフエムの概要について				
政務活動参加者	神山哲太郎				
					計 1名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	○臨時災害放送局「あつま災害エフエム」概要について。 事業の目的 町民への広報手段の一つとしての臨時災害放送局を運用。これまでの防災行政無線や広報誌、インターネットホームページに加えて二重三重の情報発信体制を構築することが出来ている。また、被災者支援情報や生活関連情報等を伝達することにも大きな役割を果たし、停電時や移動時においては重要な情報伝達手段となっている。 事業の概要 (1) 免許人：北海道厚真町 (2) 周波数および空中線電力：81.40MHz/50W (3) 無線設備の常置場所：厚真町役場 ※ 無線設備および空中線は北海道総合通信局より無償貸与 (4) 開局日：平成30年9月20日 (5) 放送頻度：平日8時、12時、18時の3回放送 (6) 放送内容：気象情報、被災者支援情報、イベント情報等 臨時災害放送局に係る経費について (1) 放送局運営に係る消耗品費 7万8千円 (2) 無線設備のメンテナンスおよび修繕費 5万円 (3) 放送機材調整および放送支援委託料 12万円 ○所感 北海道各都市にはおおむねコミュニティエフエム局が存在している。近年ラジオ放送においては、通信機器や情報収集機器				

が発達し縮小傾向が続いており、反対に携帯電話やスマートフォンなどのデータ通信を利用し情報収集している方が多い。

しかし、東日本大震災発災により停電などによりアナログ的な情報発信が見直され、東北各地に臨時災害局が開局し被災者捜索や被災者支援のため行政情報を地域に発信し地域に大きく貢献した経緯がある。

災害時においては、コミュニティエフエム局が大きな役割を果たしたが、基本的に民間出資により運用が行われており、放送局運営における人件費や設備費、リスナーの減少なども大きな課題となっている。

「あつま災害エフエム」は、北海道胆振東部地震発災の2週間後から運用を行い現在までほぼ休みなく放送している。

開局当時は、職員にコミュニティエフエム局の経験者がいたことや各地のエフエム局から放送機材に必要な音響設備等も無償で貸与して頂き、また、技術面でも大きな支援があったから短期間で開局できたとのこと。

基本的に1日に3度の生放送（1回約60分程度）は、被災者支援情報や音楽、イベント情報が放送されており、例えば、自宅再建のための相談窓口の開設の案内などや健康支援などである。

担当者によると、役場の職員が交代で生の声を届けている。最近では、町民から曲をかけて欲しいなどのリクエストやCDを持参する方もいるという。それだけ身近になっており心の拠り所であると考え。また、地域的に一次産業が中心の地域なので屋外で作業をされている場合が多く、その情報収集機器がラジオ中心とのことで調査はしていないが聞いている人が多いのではと話していた。

防災行政無線やインターネット、そして災害臨時放送局が安心につながっているのではないかと感じた。

一般的に、広報と言えは広報誌や地域によっては防災行政無線から個別受信機への情報伝達が行われている。人口の少ない地域であれば、このような設備も可能ですが、苫小牧市のような人口では、非常に難しいと考える。そこで考えるのがコミュニティエフエム局であると思うが民間だのみが現状である。

臨時災害局は、発災当初は機材がないので設置というタイムラグが生じるが、復興時における情報伝達手段としては有効性が高いと思われる。苫小牧市でも検討し、あらかじめ復旧時の計画に入れておくことが必要である。

資料名（会派保管）

予算説明資料および放送エリア航空写真

会派内回覧



--	--	--	--	--	--	--

令和元年度	支出科目	調査研究費	会派代表者	徳山	経理責任者	大野				
出張先	士別市(士別市環境センター)									
用務	士別市環境センターについて(現地視察を含む)									
期間	令和元年10月21日(月) 1日間									
参加者名	神山哲太郎 大西 厚子 大野 正和 計 3名									
概算・精算金額	63,960 円		精算金額 差 額		円					
上記金額を概算・精算旅費として受領しました 受領年月日 令和元年 10月 25日			上記金額を精算しました 精算年月日 平成 年 月 日		印					
旅 費 内 訳 書										
月・日	発着地		宿泊地	航空又は車賃		鉄 道			日 当	宿 泊
				種別	料金	キロ	運賃	特急		
10月21日	苫小牧	士別				255.7	5,280	3,880	3,000	
	士別	苫小牧				255.7	5,280	3,880		
小 計					0		10,560	7,760	3,000	
合 計				21,320 円 × 3 名 = 63,960 円						
備 考										
※宿泊・航空賃以外は、苫小牧市旅費規定に準じて算出しています。										

(様式3)

政務活動（参加・実施）報告書

令和元年 10月 25日

会 派 公明党議員団

参 加 者 神山 哲太郎



政務活動先 (目的地)	士別市（士別市環境センター）				
開催団体等					
政務活動期間	令和元年10月21日（月）				1日間
政務活動項目 (名称等)	士別市環境センターについて（現地視察含む）				
政務活動参加者	神山哲太郎	大西厚子	大野正和		
					計 3名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	《士別市環境センターの概要について》 ○士別市環境センターは循環型社会を形成する拠点として、平成29年4月に供用開始された施設である。リサイクルセンター・最終処分場・浸出水処理施設の3つの施設からなる。 ○リサイクルセンターでは、市内から集められた一般ごみ（粗大ごみ・リサイクルごみ・生ごみ以外のごみ）の埋め立てのための前処理と、資源ごみの資源化のための中間処理が行われている。 一般ごみは粗破砕機で細かく砕いた後、磁選機により有価物である鉄類を回収。回収された鉄類はコンテナで一時貯留後、場外に搬出され、鉄類以外の破砕ごみは一時貯留後、最終処分場に埋め立て処分される。その他プラスチックやペットボトルなどの資源ごみは、機械選別と人による手選別により種類ごとに分けて運搬しやすいように圧縮梱包する。集められた資源物はそれぞれの再資源化工場に運ばれ再資源化される。 ○最終処分場は、埋立地面積 8,756 m²、埋め立て容積 80,510 m³のクローズド型処分場（屋根付き処分場）である。リサイクルセンターで破砕処理された一般ごみと資源化残渣を埋め立てている。本最終処分場では、埋め立て処分で問題となる漏水を防止するために、二重遮水シート構造を採用しており、水質汚濁を防止する対策がとられている。				

	○浸出水処理施設では、埋め立て地から出る浸出水を安全に処理して下水道へ放流している。浸出水中の小さな浮遊物質を薬品により凝集し、重力沈殿により上澄水と凝集汚泥に分離。凝集沈殿汚泥は汚泥脱水機で脱水したあと埋め立て処分される。中央監視室で全ての設備を集中監視している。 《最終処分場の役割について》 ○土別市の最終処分場の特徴はクローズド型で、屋根で覆われていることである。廃棄物の飛散や臭いの拡散を防ぐための対策である。 ○最終処分場の底面と壁面には遮水シートと保護マットが敷かれているため、埋め立てた廃棄物への散水により発生する水(浸出水)が埋立地の外へ流れ出ないように対策されている。また、遮水機能の監視を行い、共用中にシートが破損しても遮水シート損傷位置システムにより破損箇所を見つけ、遮水シートの補修が速やかに実施できるように遮水工・漏水検知システムを取り入れている。 ○供用開始から2年6か月が経過し、埋め立て量は計画量の1割を超えた。20年間は維持したいと考えていることから、ごみの減量化に取り組んでいく。土別市として、今年10月からごみの有料化を開始している。 《公害防止対策について》 ○防じん・臭気対策として、バグフィルタ、脱臭装置の採用により排気中の粉じんを捕集し大気汚染防止を図っている。 ○最終処分場において、遮水シートと保護マットで浸出水が埋立地の外へ流れ出ないようにする対策とともに、遮水工・漏水検知システムを採用している。 《所見》 ○土別市環境センターにおいて、地域の環境に配慮する対策として、クローズド型処分場(最終処分場に屋根を設置)を採用している事、さらに、埋め立て地から浸出水が流出する事を防止する取り組みや防じん臭気対策などの取り組みを視察し、大変に参考になった。
	資料名(会派保管) ・『土別市環境センター』 ・『土別市ごみ収集カレンダー』

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--

(様式4)

旅 費 支 払 伝 票

整理番号	11
------	----

令和元年度	支出科目	調査研究費	会派代表者		経理責任者					
出張先	函館市(函館蔦屋書店、社会福祉士・精神保健福祉士野村俊幸様宅)									
用務	蔦屋書店の概要について(函館蔦屋書店の現地視察含む)、ひきこもり・不登校の取り組みについて									
期間	令和元年10月24日(木)～10月25日(金) 2日間									
参加者名	大西 厚子 計 1 名									
概算・精算金額	29,086 円		精算金額	円						
			差 額	円						
上記金額を概算・精算旅費として受領しました 受領年月日 令和元年 10月 29日				上記金額を精算しました 精算年月日 平成 年 月 日		印				
旅 費 内 訳 書										
月・日	発着地		宿泊地	航空又は車賃		鉄 道			日 当	宿 泊
				種別	料金	キロ	運賃	特急		
10月24日	苫小牧	函館	函館			247.5	3,735	2,900	3,000	8,316
10月25日	函館	苫小牧				247.5	3,735	2,900	3,000	
小 計					0		7,470	5,800	6,000	9,816
合 計				29,086 円 × 1 名 = 29,086 円						
備 考 宿泊は1泊1食付き。 ※宿泊・航空賃以外は、苫小牧市旅費規定に準じて算出しています。										

(様式 5)

支 出 伝 票

使用科目	調査研究費	会派代表者		経理責任者		整理番号	1 1
------	-------	-------	---	-------	---	------	-----

領 収 証		BA No. 002338
公明党議員団 様		令和 元 年 9 月 30 日
金 9 2 1 5 8 6 *		
収 入 印 紙	但し JR 券・ご宿泊代として 上記金額正に領収いたしました	
	株式会社 近畿日本ツーリズム 北海道 苫小牧支店 〒053-0021 苫小牧市若草町3丁目2-7 大東若草ビル4F TEL. 0144-33-1912 FAX. 0144-32-1330	
責任者印  発行者印 		
御注意 1. 複写記入式でないもの並びに金額の訂正した もの、また社用印、責任者印、発行者印なき ものは無効とします。 2. 金額の頭部に¥の表示をいたしております。		

事業名、使途及び内容等

令和元年 10 月 24 日(木)～10 月 25 日(金)

函館市(函館蔦屋書店、社会福祉士・精神保健福祉士野村俊幸様宅)

蔦屋書店の概要について(現地視察を含む)、ひきこもり・不登校の取り組みについて

JR 券・宿泊代 21,586 円 宿泊代は 8,316 円 宿泊は 1 泊 1 食付き

備考

(様式 3)

政務活動（参加・**実施**）報告書

令和 元年 10 月 29 日

会 派 公明党議員団

参 加 者 大西 厚子



政務活動先 (目的地)	函館市（函館蔦屋書店、社会福祉士・精神保健福祉士野村俊幸様宅）				
開催団体等					
政務活動期間	令和元年 10 月 24 日（木）～10 月 25 日（金）				2 日間
政務活動項目 (名称等)	蔦屋書店の概要について（函館蔦屋書店の現地視察含む） ひきこもり・不登校の取り組みについて				
政務活動参加者	大西厚子				
					計 1 名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	《蔦屋書店の概要について》 ○函館蔦屋書店は 2013 年 12 月函館市石川町にオープン。 ○敷地面積 9,372 坪、店舗面積 2,500 坪。駐車場収容台数 650 台。 ○書籍、雑誌、コミック、児童書、専門書などの書籍に加えて、生活雑貨やゲーム・音楽ソフトを扱う蔦屋書店と、カフェや生活に彩りをプラスする専門店が加わっている。 ○蔦屋書店のコンセプト ・子供の独立・退職を経た団塊の世代、プレミアムエイジと、現在子育てや仕事に追われている団塊の世代のジュニア世代、親子 3 世代に対して、親子 3 世代が共に楽しめる上質な空間と時間の使い方をデザインし提案する。 ・地域の活性化を目指し、コミュニティが再生する場を創造すること、そして市民の憩いの場となるブック＆カフェをつくる。コミュニティに活動の場を提供し多くの人々が集う場に。みんなのお店から私の私たちのお店へ。 ・お店の中でやりたいことは①買ってない本でもコーヒーを飲みながら読める本屋さん②心ゆくまで本を楽しむ読書の間③料理を教えてもらえるキッチン④カウンセリングを受けながら自分の肌に合う化粧品を選べる⑤子供たちが一年間遊べる室内公園⑥お母さんたちが毎日集まれる井戸端がある⑦ゲームセンターみたい				

に試遊機がいっぱいある⑧最高の環境で音楽が聴ける⑨家族みんなでゆっくりご飯を食べられるレストランがある。⑩定期的に開かれるマルシェ⑪町のみんが集う公園

○コミュニティイベントの実際

・キッチン料理を身近に感じるフードコーディネーターによる料理教室、冬休みの自由研究・工作のワークショップ、本好きの人の月一回の会合、仕事帰りの女性のための癒しのイベント：金曜の夜の楽しみヨガ、コンシェルジュの魅力発信：旅コンシェルジュの「安やどの夜」、文化教室：番犬と飼い主のための勉強会（地元ドクトレーナー主催）、小学校の「ハンドベル」演奏会、親子で絵本カフェ、親と子が出会い育つ屋外七夕おやつ配り（地域の伝統風習への参加）、函館春のパンまつり（蔦屋主催）等々。

・これまでの通常の店舗でのイベントと、蔦屋のコミュニティイベントは大きく状況が変わる。これまでのイベントは若者トークショー、サイン会、キャラクターショー、アーティストミニライブ、握手会などが主流だったが、蔦屋のコミュニティイベントは、地域住民自身が主催となり参加者となるため、より地域に密着した多くのイベントを実施することができる。

・イベントは、月 120 回開催。

○所感

資料の書籍（株）蔦屋書店の社長梅谷知宏氏の著書『“新しい「好き」”が生まれる場所へ僕たちが舵を切った日々のこと』の中に、「日本の地方をイノベートしたい」という思いが強くあった。そのためには、函館に住んでいる方々に、とにかく家から出て来てほしい。…空間、時間、仲間。それが指し示すのはモノではない。いうならば、コトだろう。…モノは独占を導く。…コトは共有に繋がる。…共感を覚えた人たちが集まる。そこに風景は生まれる。」「日本の地方都市にあっては…コトを提供する場が決定的に不足している。…だからこそコトを提供する場が必要だと思うのだ。」「展開される市民のグループが主役のイベントの数々。…蔦屋書店は間違いなく活性化され、多くの人々が集う場所となることができた。」とある。苫小牧市においては、（仮称）市民ホールの建設に向けての取り組みやCAPの取り組みが進められている。公・民の違いはあるが、示唆に富むものである。

《ひきこもり・不登校の取り組みについて》

○函館地域の不登校、ひきこもりサポート活動について

精神保健福祉士である野村俊幸氏がかかわってきた、函館地域の家族会や当事者会などの活動の概要

1) 登校拒否と教育を考える函館アカシヤ会

子供の不登校で悩む親や養護教諭などが 1993 年に設立。月一回の定例会を開催。年 1、2 回の市民向け講演会の啓発事業を実施。隔月で会報を発行。130 人の会員で約 15 名の参加。

2) 道南ひきこもり家族交流会「あさがお」

	子供のひきこもりで悩む親と、精神医療保健分野の専門職がコラボし、2003年に設立。月1回の例会を開催。隔月の会報を発行。会員約100名。例会参加は20名を超える。 3) ひきこもり当事者の集い「樹陽のたより」 前述の道南ひきこもり家族交流会「あさがお」の例会に参加していたひきこもり体験者が独自に集まるようになり、毎回10名前後の若者が月1回の例会を開催。親にとって経験者の話を聞く貴重な機会になっている。 4) 「昂の会」不登校をともに考える会 函館市隣接の北斗市の関係者が自分の街にも会がほしいと2009年に設立。月1回の例会を開催。隔月で会報発行。会員30名で近隣市町村からも参加。 5) 「フォローズ」勉強会 思春期以降に自閉スペクトラムの診断を受けた方、及びその可能性のある方の家族が今後の生活について話し合い、相互に学習する場。2012年に、子供が発達障害の親が設立。月1回の例会を開催。毎回10数名が参加。 6) 函館圏フリースクールすまいる 2012年設立。「フリースペース」は毎週月曜日～木曜日に小中高年代の子供の居場所になっている。「学習支援」としてメンタルフレンド、基礎学習、総合学習、高卒認定取得支援等、一人一人の状況に応じて対応。「スマイル笑み会」として、高校生年代以上の若者のフリースペースを週1回開設。若者の居場所になっている。 ○所感 当事者や親の会の、函館市を中心にした道南地域の取り組みの充実の様子を伺った。行政の支援の在り方についての意見交換もでき大変参考になった。
	資料名（会派保管） ・書籍『“新しい「好き」”が生まれる場所へ 僕たちが舵を切った日々のこと』 ・「登校拒否を考える函館アカシヤ会って」 ・「道南ひきこもり家族交流会あさがお」 ・「はこまち通信 VOL. 40 ひきこもり体験者のつどい“樹陽のたより”」 ・「社会参加に辛さを抱える方と家族の自助会」

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--

(様式4)

旅 費 支 払 伝 票

整理番号

12

令和元年度	支出科目	調査研究費	会派代表者	徳	経理責任者	大野				
出張先	小樽市(小樽市立高島小学校)									
用務	ユネスコスクールの取り組みについて(現地視察を含む)									
期間	令和元年11月20日(水) 1日間									
参加者名	池田 謙次 神山 哲太郎 大西 厚子 藤田 広美 大野 正和 計 5 名									
概算・精算金額	50,700 円		精算金額	円						
			差 額	円						
上記金額を概算・精算旅費として受領しました 受領年月日 令和元年 11月 26日			大野	上記金額を精算しました 精算年月日 平成 年 月 日		印				
旅 費 内 訳 書										
月・日	発着地		宿泊地	航空又は車賃		鉄 道			日 当	宿 泊
				種別	料金	キロ	運賃	特急		
11月20日	苫小牧	小樽				105.0	2,420	1,150	3,000	
	小樽	苫小牧				105.0	2,420	1,150		
小 計					0		4,840	2,300	3,000	0
合 計				10,140 円 × 5 名 = 50,700 円						
備 考										
※宿泊・航空賃以外は、苫小牧市旅費規定に準じて算出しています。										

(様式 3)

政務活動（参加・実施）報告書

令和 元年 11 月 26 日

会 派 公明党議員団

参 加 者 池田 謙次



政務活動先 (目的地)	小樽市立高島小学校（小樽市高島5丁目6番1号）				
開催団体等					
政務活動期間	令和元年11月20日（水）			1日間	
政務活動項目 (名称等)	ユネスコスクールの取り組みについて（現地視察を含む）				
政務活動参加者	池田 謙次	神山 哲太郎	大西 厚子		
	藤田 広美	大野 正和			計 5 名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	《ユネスコスクール加盟・認定へ向けた経緯について》 高島小学校がユネスコスクールに認可されたのは、平成 25 年 6 月。高島小学校は、同年の平成 25 年度に、明治 9 年創立の祝津小学校と統合し新しい高島小学校としてスタート。統合にあたって、学校教育目標をはじめ教育課程を大幅に改善。学校づくりの柱として考えられたのが、祝津地区の歴史と伝統を守り地域の特徴を生かした学習「ふるさと教育」を進めていく事。そして、学校づくりを進める上でのもうひとつの柱としたのがユネスコスクールの認定を目指す事。海外に出ていく機会が、これまでとは比較にならないくらい増えるであろうこれからの時代を、生き抜いていける子どもを育てたいとの考えから。 保護者や地域の方に行った「新しい学校づくりのためのアンケート」の結果をもとに、学校教育目標「ゆたかにまなび ひとみかがやく たかしまの子（たからじまの子）」を制定。目指す学校像として「1 共働を通して思いやりと信頼に満ちた学校（ユネスコスクール）、2 地域に支えられる学校、3 学び合いのある学校」を策定。祝津小学校との統合がユネスコスクール加盟・認可に向けてのきっかけとなった。また、認可に向けての書類はすべて英語で表記しなければならない事もあり、職員の理解と協力を得ての取り組みであった。 《ユネスコスクールとしての高島小学校の取り組みについて》				

○祝津地域の小樽水族館の協力を受ける等、豊富な自然もとにした「ふるさと教育」を軸に、「①人権・平和 ②福祉 ③環境 ④国際理解 ⑤地域の伝統文化、文化遺産」をテーマにし、「つながる」をキーワードとして活動を進めている。①「学習がつながる」“学年がつながる 低・中・高と積み重ねる”②「社会がつながる」“地域の環境・人・産業とつながる”

とりわけ、この地球で生きていくことを困難にするような問題について、立ち向かい、解決していくための学習を子どもたちの実生活と照らして考えさせ、日常のよりよい生活を持続させていくことで、持続可能な未来の社会を創造していく人間性を涵養していくことを目的としている。

児童の学び・活動を価値づけ、教員一人一人が高い意識で学校運営に参画し、ユネスコスクールとしての活動を、カリキュラムマネジメントの“ハブ”として機能させている。

○活動の概要

① 人権・教育に係わる教育：児童会が中心となって、〈学校を笑顔にする運動〉の一環として「挨拶運動」「高島自慢」「いじめ防止標語」に取り組んできた。また、「ユネスコ寺子屋運動」として書き損じハガキの収集、社会福祉協議会と連携した赤い羽根共同募金の活動を行った。②福祉に係わる教育：5年生で総合的な学習の時間において、社会福祉協議会と連携してアイマスク体験や高齢者疑似体験等を通じて、高齢者や障がいのある方への理解と支援のあり方について学習を深めた。2年生においては、老健施設を訪問し高齢者との交流を図った。③環境に係わる学習：全学年が地域にある水族館・博物館・商店街等の協力をもとに、実体験をしながら、地域の産業や歴史、環境について学んできた。児童会の活動として、学校周辺の環境の美化を目的に、全校児童による清掃活動・落ち葉拾いを行った。資源の有効活用を目的に「プルタブキャップ」回収を行った。④国際理解に係わる学習：学校独自のカリキュラムのもと、3、4年生において外部講師を活用しながら外国語活動を行い、他文化、他言語への理解を深めてきた。⑤地域の伝統文化、文化遺産に係わる学習：地域にある歴史的建造物や博物館について、その歴史や役割を学ぶとともに写生を通して建造物としての意義を考えてきた。越後盆踊りのビデオを視聴したり、隣接するプールにおいて古式泳法の参観を行ったり、伝統文化に触れた。

○平成31年度（令和元年度）の活動計画

～児童・教職員の信頼関係の確立と、思いやりに満ちた誰もが安心できる学校～①地域で生きる学校：地域の教育資源や人材を積極的に活用し、共働を通して児童を守り育てる。②積極的な情報共有と情報交換によって、学校と家庭、地域との信頼関係を築く。③日常的な地域との連携・共働を心がけ、地域貢献を行う。

5月→環境美化運動 7月～8月→地域施設・商店街見学 9月→いじめ防止標語の取組み 老健施設との交流 10月→赤い羽根共同募金 2月→ユネスコ寺子屋運動

	○令和２年度に向け、総合的な学習の時間における「ユネスコスクールプロジェクト（ESD）」の取り組み計画を策定。①人権意識や国際感覚の育成及び世界平和への意識啓発を図る。②地域的な特色を生かして、児童に地域の保全、保護のための環境教育への能力を養い、さらに、③世界遺産、世界平和や異文化理解教育に発展させ指導する。 《ESD（持続可能な開発のための教育）推進の教育課程への位置づけについて》 ○これまで生活科や総合的な学習の時間、社会科などの教科で取り組まれてきた「人権・福祉・平和」「国際理解・環境・地域遺産の理解と推進」を、ユネスコスクールの活動と位置付けている。 ○各学年の目標及び育てようとする資質や能力とユネスコスクールプロジェクトとの関連を明確にして取り組む。３年生→「地域遺産」と関連ある学習活動 ４年生→「地域遺産」「環境教育」と関連のある学習活動 ５年生→「地域遺産」「人権教育」と関連のある学習活動 ６年生→「地域遺産」「人権教育・平和教育」と関連のある学習活動 《活動の成果や効果、ユネスコスクール加盟のメリットについて》 子どもの活躍が見えやすい。優しい発想・行動の子どもが育つ。子どもの成長を共通言語に、保護者や地域の方とつながることができる。 《課題について》 「働き方改革」の中でのスクラップ アンド ビルド。 《所感》 ユネスコの理念を教育で実践し、教員一人一人が高い意識で学校運営に参画している高島小学校のユネスコスクールの取り組みを視察し感銘をうけた。子どもを「たからじまの子（高島の子）」と大切に育み、「地球規模の諸問題にこれからの若者が対処できるような持続可能な未来の社会を創造していく人間性を涵養していくことを目的としている」活動は貴い実践であると感じた。 課題として「働き方改革」のスクラップ アンド ビルドについてあげられていたが、十分な考慮が必要であると考えます。そのうえでユネスコスクールを苫小牧市の教育にも取り入れていければと感じる所である。 <table border="1" data-bbox="448 1637 1417 1843"> <tr> <td data-bbox="448 1637 730 1843">資料名（会派保管）</td><td data-bbox="730 1637 1417 1843"> ・小樽市立高島小学校 苫小牧市議会 行政視察 資料 ・小樽市立高島小学校 令和元年度 学校要覧 </td></tr> </table>	資料名（会派保管）	・小樽市立高島小学校 苫小牧市議会 行政視察 資料 ・小樽市立高島小学校 令和元年度 学校要覧
資料名（会派保管）	・小樽市立高島小学校 苫小牧市議会 行政視察 資料 ・小樽市立高島小学校 令和元年度 学校要覧		

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--

(様式4)

旅 費 支 払 伝 票

整理番号

13

令和元年度	支出科目	調査研究費	会派代表者	神	経理責任者	大野				
出張先	伊達市(だて地域生活支援センター)									
用務	胆振日高障がい者就業・生活支援センターすてーじについて(現地視察を含む)									
期間	令和元年12月20日(金) 1日間									
参加者名	神山 哲太郎 大西 厚子 大野 正和 藤田 広美 池田 謙次 計 5 名									
概算・精算金額	45,400 円		精算金額	円						
			差 額	円						
上記金額を概算・精算旅費として受領しました			大野	上記金額を精算しました		印				
受領年月日 令和元年 12月 26日				精算年月日 平成 年 月 日						
旅 費 内 訳 書										
月・日	発着地		宿泊地	航空又は車賃		鉄 道			日 当	宿 泊
				種別	料金	キロ	運賃	特急		
12月20日	苫小牧	伊達紋別				80.7	1,890	1,150	3,000	
	伊達紋別	苫小牧				80.7	1,890	1,150		
小 計					0		3,780	2,300	3,000	0
合 計				9,080 円 × 5 名 = 45,400 円						
備 考										
※宿泊・航空賃以外は、苫小牧市旅費規定に準じて算出しています。										

(様式 3)

政務活動（参加・実施）報告書

令和 元年 12 月 26 日

会 派 公明党議員団

参 加 者 神山 哲太郎



政務活動先 (目的地)	だて地域生活支援センター（伊達市船岡町 200 番地 49）				
開催団体等					
政務活動期間	令和元年 12 月 20 日（金）				1 日間
政務活動項目 (名称等)	胆振日高障がい者就業・生活支援センターすてーじについて (現地視察を含む)				
政務活動参加者	神山哲太郎	大西厚子	大野正和		
	藤田広美	池田謙次			計 5 名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	○障がい者就業・生活支援事業について 本事業は、就職を希望する障がい者や在職中の障がい者が抱える課題に応じて、雇用及び福祉の関係機関と連携のもと、就業面及び生活面の一体的な支援を行う事業である。北海道、国からの委託事業であり、道内に 11 か所、全国に 334 か所でおこなわれている。 胆振日高障がい者就業・生活支援センターが担うエリアは、8,509 km²で、広島県とほぼ同じ面積である。 支援圏域と体制については、すてーじ伊達で、西胆振の豊浦町・洞爺湖町・壮瞥町・伊達市・室蘭市・登別市の 3 市 3 町の圏域を、就労支援員 2 人、生活支援員 1 人の体制で支援を行っている。東胆振・日高の 1 市 11 町の白老町・安平町・厚真町・むかわ町・苫小牧市・平取町・日高町・新冠町・新ひだか町・浦河町・様似町・えりも町は、就労支援員 2 人、生活支援員 1 人の体制で支援を行っている。H29 年 4 月にすてーじの分所を開設し、H30 年から苫小牧市に就労支援員 1 人を配置している。 本事業の具体的な業務は、新規雇用事業所・職場実習受け入れ企業の開拓と確保、職場定着に向けた定期的な職場訪問、個々の特性及びその対応等の相談・セミナーの実施、職親会との連携、関係機関等との連携会議（年 4 回程度）、福祉系サービス事業所との連携等である。生活支援については、市内近郊の支援を行っており、主な支援業務は、日常生活、地域生活に関する助言（生活習慣の形成・生活設計・住宅の確保・住居管理・健康管理・定期受診等の通院同				

	行・金銭管理・買い物同行・余暇活動支援等々)、関係機関との連絡調整(行政、相談支援センター、医療等)である。 ○支援状況について H31年3月末の相談支援件数は、3,855件で、電話・メールが1,384件、来所が660件、家庭訪問が615件、職場訪問が420件、その他(同行等)が776件である。新規登録者は69名。内訳は、身体障がい8名、知的障がい24名、精神障がい18名、発達障がい6名、高次脳機能障がい1名、その他2名であった。 支援対象者は442名で、障害内訳は、身体障がい37名、知的障がい257名、精神障がい83名、発達障がい36名、難病3名、高次脳機能障害4名、その他(認定なしなど)25名である。 就労状況は、H29年4月からH30年3月で就職者49名で、内訳は、身体障がい1名、知的障がい29名、精神障がい7名、発達障がい11名、高次脳機能障がい1名である。定着状況については、H29年4月からH30年3月までの1年経過時点での在職者数は41名で、知的障がい者が75.9%の22名、発達障がい者が91%の10名で、他は離職はなかった。41名の就労職種内訳は、建設・運輸・鉄鋼・設備関連が10名、清掃関連が6名、スーパー・小売り業13名、施設厨房・食品製造・飲食関連6名、介護関連1名、事務・通信関連4名、水産1名である。一般就労は、H31年3月現在138事業204名である。 就労支援は、障がい者にとって働きやすい環境を事業所と共に整備することが最大の役目・役割である(定着支援)。そのために個々の特性を十分把握し、家族支援を含めた生活面の安定を図りながら支援していく事が大切である。支援者の姿勢として、対象者本人の強みを理解し、弱みを補うためにノウハウを学び、考え、実践すること、障がい者と企業をつなぐ、マッチング支援が重要である。 ○所感 障がい者が自立し希望を持って安心して生活ができる共生社会構築のために、就労支援や就労環境を充実させていく事は重要な課題である。雇用、福祉などの関係機関が連携を深め、障がい者の個々の特性を十分に理解し、障がいに応じた就業の場を拡大する事が大切である。そのための支援体制の強化が重要であると感じる。障がい者雇用の法整備もなされてきているが、更なる充実と、それを支える、人的体制整備が最重要課題であると考えている。 資料名(会派保管) ・「障がい者就業・生活支援センターすてーじ」 ・「就業・生活支援センターの役割について」
--	--

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--

(様式4)

旅 費 支 払 伝 票

整理番号

14

令和元年度	支出科目	調査研究費	会派代表者	神	経理責任者	本	
出張先	釧路市(一般社団法人 学校地域協働センターラポールくしろ)						
用務	事業全般について						
期間	令和2年 1月20日(月) ~ 1月21日(火) 2日間						
参加者名	神山 哲太郎 大西 厚子 大野 正和 藤田 広美 計 4 名						
概算・精算金額	146,440 円		精算金額	円			
			差 額	円			
上記金額を概算・精算旅費として受領しました 受領年月日 令和2年 1月 24日			本	上記金額を精算しました 精算年月日 平成 年 月 日		印	
旅 費 内 訳 書							
月・日	発着地		宿泊地	航空又は車賃 種別 料金	鉄 道 キロ 運賃 特急	日 当	宿 泊
1月20日	苫小牧	釧路	釧路		331.7 6,490 3,170	3,000	9,790
1月21日	釧路	苫小牧			331.7 6,490 3,170	3,000	
							食事代 1,500
小 計				0	12,980 6,340	6,000	11,290
合 計				36,610 円 × 4 名 = 146,440 円			
備 考 宿泊は1泊1食付き。 ※宿泊・航空賃以外は、苫小牧市旅費規定に準じて算出しています。							

(様式5)

支 出 伝 票

使用科目	調査研究費	会派代表者		経理責任者		整理番号	14
------	-------	-------	---	-------	---	------	----

No 202001210114

領収書
(RECEIPT)

お名前 NAME	公明党議員団	様
-------------	--------	---

領収金額 BALANCE DUE	39,160
---------------------	--------

(上記金額には消費税が含まれております)

(内消費税 Con.Tax ¥3,556) (軽減税率対象額 ¥0)
(標準税率対象額 ¥39,160) (経過措置対象額 ¥0)

発行日
ISSUED 2020/01/21



ラビスタ釧路川
〒085-0015 北海道釧路市北本町
TEL 0154-31-5489 FAX 0154-31-5335
http://www.hotespa.net/dormitory/

事業名、使途及び内容等

令和2年1月20日(月)～1月21日(火)

釧路市(一般社団法人 学校地域協働センターラポールくしろ)事業全般について

ラビスタ釧路川 宿泊代 9,790 円×4名=39,160 円 宿泊は1泊1食付き

備考

(様式 3)

政務活動（参加・**実施**）報告書

令和 2 年 1 月 2 4 日

会 派 公明党議員団

参 加 者 神山 哲太郎



政務活動先 (目的地)	一般社団法人 学校地域協働センターラポールくしろ				
開催団体等					
政務活動期間	令和 2 年 1 月 2 0 日 (月) ~ 1 月 2 1 日 (火)				2 日間
政務活動項目 (名称等)	事業全般について				
政務活動参加者	神山哲太郎	大西厚子			
	大野正和	藤田広美			計 4 名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	○ラポールくしろの概要 ラポールくしろは 2018 年 9 月に設立。地域の子どもたちを対象としたキャリア教育、プログラミング教育を推進するため、釧路市の教育関係者、IT 企業関係者らで、一般社団法人「学校地域協働センターラポールくしろ」を立ち上げ活動をすすめている。メンバーは現在、学校教員や IT 企業社員など 7 人で、本業の傍ら知恵と資金を出し合って運営。活動の趣旨に賛同する企業や個人から寄付金を募っての運営である。 ○ラポールくしろの方針と事業 これからの子どもたちには、厳しい挑戦の時代を乗り越え高い志や意欲を持つ自立した人間として、他者と協働しながら未来を創り出し課題を解決する力が求められている。子どもたちの生きる力は、学校だけで育まれるものではなく、家庭における教育はもちろんのこと、多様な人々との関わりや地域社会とのつながり、信頼できる大人との多くの関わりを通して育まれるものである。地域住民や企業など、様々な専門知識・能力を持った地域人材が関わることで、将来を生き抜く子どもたちに、実社会に裏打ちされた幅広い知識・能力を育成することができる。しかし現状は、教員の多忙化や学校の閉鎖性などから、地域住民や企業などの声が届き辛いという声も多く聞かれる。「ラポールくしろ」はその現状を解決するために、学校と地域・企業、学校とマチをつなぎ、人と人（大人とこども、教師と企業人など）をつなぐ役割として、新たな教育プログラ				

	ム開発やコーディネーターの育成などを展開している。地域の教育力の向上は、地域の課題解決や地域振興、さらには、持続可能な地域社会の源となり、「生涯学習社会」の構築にも資すると考える。 具体的な事業としては、①コーディネート（学校と企業それぞれのニーズをマッチングさせる）②プログラム開発（地域が求める人材育成に向け新たな教育プログラムを開発する）③出前授業（企業の専門性を生かし子どもたちと地域の課題を共有する）④セミナーなど（セミナーやイベントを開催し地域の活性化を図る）⑤コーディネーター養成（地域と学校をつなぐコーディネーター研修を開催する）などの活動を実施している。 ○事業のメリットについて 企業にとっては①社員のモチベーションがアップする②スキルアップにつながる③企業の歴史や課題を整理できる④人材育成の先行投資になる。学校にとっては、外部の方と協働することで①ゲスト講師による刺激と学習の広がりが期待できる②子どもたちに、まだ触れていない「社会」を見せることができる③今の学習と、これからの人生とのつながりをイメージさせることができる④子どもたちは夢と現実をセットで実感できる。 ○今後の展開について 今後はコーディネーターの育成が課題。専任のコーディネーターの育成・配置の充実に取り組み、2020年度から小学校で必修化されるプログラミング教育の先進的な取り組みを市内全体で共有するなど、少しずつ活動の範囲を広げていく。ラポールくしろの活動をさらに周知し、釧路の将来を担う子どもたちを地域全体で育て支える意識を広げていきたいと話されていた。 ○所感 「10年先の未来は、AIやIoTなどの技術革新により、想像をはるかに超える社会へと進展しているだろう事を考えると、学校のこれまでの教育内容だけでは、未来を託す子どもたちは行き場を見失ってしまう。だからこそ今、企業（地域）と学校が力を合わせ、未来を託す子どもたちに生きて働いていく力を育てるために…学校と企業（地域）をつなぐお手伝いをする」との言葉など、本法人の設立の方針などの志が印象的だった。プログラミング教育、キャリア教育の充実は、子どもたちの未来のため、本市においても求められる所と考える。教育は学校と地域の共育で行うという考えの本事業。大いに共感し、苫小牧市において、参考にした仕組みづくりと合わせ、地域の教育力づくりが切望されると考える。
資料名（会派保管）	・「子どもの未来を創造する」 ・「活動報告 一般社団法人 学校地域協働センターラポールくしろ」

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--

(様式4)

旅 費 支 払 伝 票

整理番号

15

令和元年度	支出科目	調査研究費	会派代表者		経理責任者					
出張先	東京都日野市(日野市議会)									
用務	日野市発達・教育支援センターについて									
期間	令和2年1月27日(月) 1日間									
出張者名	藤田 広美									
計 1 名										
概算・精算金額	33,920 円		精算金額	円						
			差 額	円						
上記金額を概算・精算旅費として受領しました 受領年月日 令和2年 2月 3日				上記金額を精算しました 精算年月日 平成 年 月 日		印				
旅 費 内 訳 書										
月・日	発着地		宿泊地	航空又は車賃		鉄 道			日 当	宿 泊
				種別	料金	キロ	運賃	特急		
1月27日	苫小牧	新千歳空港				29.8	660		3,000	
	新千歳空港	羽田空港		ヒ	13,660					
	羽田空港	東京		モ	660					
	東京	日野	日野市			40.8	730			
	日野	東京				40.8	730			
	東京	羽田空港		モ	660					
	羽田空港	新千歳空港		ヒ	13,160					
	新千歳空港	苫小牧				29.8	660			
										食事代 0
小 計					28,140		2,780	0	3,000	0
合 計				33,920 円 × 1 名 = 33,920 円						
備 考										
※宿泊・航空賃以外は、苫小牧市旅費規定に準じて算出しています。										

(様式 5)

支 出 伝 票

使用科目	調査研究費	会派代表者		経理責任者		整理番号	15

領収書

WEB 77dd07d8b8-3P81J-094029-0~1100
表示日 2019年12月27日(金)

公明党議員団

様

金額 ￥26,820- (税込)
クレジット支払い
(消費税10%対象 ¥26,820- (税込))

航空券番号 1010267830385015 1010267830385026
照会番号 SBXBCY

但し 運賃および税金・料金等

航空券発行日 2019年12月19日(木)

上記、正に領収いたしました。

本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。

 A STAR ALLIANCE MEMBER 
全日本空輸株式会社 All Nippon Airways Co.,Ltd.

事業名、使途及び内容等

令和2年1月27日(月)

東京都日野市(日野市議会)日野市発達・教育支援センターについて

航空券代金 26,820 円 × 1 名 = 26,820 円

備考

(様式 3)

政務活動（参加・**実施**）報告書

令和 2 年 2 月 3 日

会 派 公明党議員団

参 加 者 藤田 広美



政務活動先 (目的地)	東京都日野市（日野市議会）東京都日野市神明 1 丁目 12 番地の 1				
開催団体等					
政務活動期間	令和 2 年 1 月 27 日（月）				1 日間
政務活動項目 (名称等)	日野市発達・教育支援センターについて				
政務活動参加者	藤田 広美				
					計 1 名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	《日野市発達・教育支援センター「エール」について》 ○エール（日野市発達・教育支援センター）は、平成 26 年 4 月に開設。0 歳から 18 歳までの、発達面、行動面、学校生活面において支援を必要とする子ども、子どもの育ちについて不安のある保護者、関係機関に対し、福祉分野と教育分野が一体となって切れ目のない支援、総合的な相談や支援を実施している。 ○エール開設までの経過 既存の障害児通所施設の老朽化により、再編のための検討を開始。平成 21 年「障がい者保健福祉プラン」で、（仮称）発達支援センターの設置を盛り込む。平成 22 年に「（仮称）日野市発達支援センター基本計画書」を策定。切れ目のない支援体制についての検討委員会を設置し切れ目のない支援体制について検討。平成 24 年に福祉と教育の連携体制を検討する会議を設置。福祉と教育が一体となった支援ができる施設にすることが決定。開設に至る。 ○エールの特徴は、①発達や教育に係わる相談をわかりやすくするため、窓口を一体化し、センター内に発達支援課と教育支援課を開設。②福祉と教育の連携による切れ目のない支援を実施。③多様な専門職（心理士、言語聴覚士、作業療法士、保健師、就学相談員、特別支援教育総合コーディネーター、スクールソーシャルワーカー（SSW）など）による総合支援を実施。 ○エールの組織体制は、①健康福祉部発達支援課と教育委員会教育部教育支援課を設置。②両課の調整のためにセンター長を配置。市				

長部局、教育委員会(教育部参事)の併任辞令により、福祉と教育を調整。③相談を担当する保健師・心理士は、両課の併任辞令により総合的な支援のしくみとする。

○組織・人員体制は、センター長の元に発達支援課と教育支援課を置き、センター長は発達支援課長を兼務。発達支援課には、発達支援係と通園係を設置。発達支援係は、係長、保健師(3名)、心理士(1名)、社会福祉士(1名)、事務職(2名)。通園係は、保育士・指導員(7名)。計15名の人員体制。教育支援課は、特別支援教育・教育相談係として、係長と事務職の3名の人員体制である。

○エールでは、福祉と教育の総合的な相談支援体制を組み、発達・教育支援システムで、カルテ(かしの木シート)を福祉と教育で一本化して情報を共有している。センターの総合相談受付では、保健師、臨床心理士が、保護者や関係機関より相談を受け、適切な相談担当や必要な支援につないでいる。具体的には、就学相談、心理相談、医師、保健師による相談、SSW(学校)、巡回相談(各施設)など。

○エールで実施している事業は、①相談事業として、心理士による心理相談、保健師による一般相談、専門医による医療相談、特別支援学級や特別支援学校への就学・進学相談。障がい児相談。②支援事業として、通園事業、乳幼児健診後のホローグループの支援、集団専門指導、集団トレーニング、巡回相談、ソーシャルワークの支援、一時預かり、保護者交流。③学校への特別支援教育の事業は、特別支援学級、特別支援教室、リソースルーム(学習の保健室)、日野スタンダード(包み込むモデル授業のユニバーサルデザイン化)などを行っている。

○かしの木シートについて

発達・教育支援システムでカルテとして福祉と教育を一本化して情報を共有するために、かしの木シートを作成。エール総合相談受付で、かしの木シートに同意した保護者に、個人情報同意書を記入してもらい作成。福祉と教育が一体となった「個別の支援計画」である。内容は、子どもの成長記録やサポート内容を1年ごとに1枚のシートにまとめ、保護者同意の上で記録し保存、引継ぎ、エール・保育園・幼稚園・小中学校・学童クラブ・高等学校の関係機関で共有し、切れ目のない支援に活かしている。発達・教育支援システム、かしの木シートの拠点は78箇所。かしの木シートの作成状況は、平成31年3月31日現在、1,613人。小中学生は、教育支援計画と統合している。

○所感

福祉と教育が一体化した体制で運営されているエールの取り組みは非常に参考になる取り組みであった。また、0歳から18歳までの支援を必要とする子どもの切れ目のない支援のための、発達・教育支援システム、かしの木シートの取り組みも先進的な取り組みとして大いに参考になった。

	資料名(会派保管)	・「エール 日野市発達・教育支援センター」 ・「かしの木シート」
--	-----------	-------------------------------------

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--

(様式4)

旅 費 支 払 伝 票

整理番号

16

令和元年度	支出科目	調査研究費	会派代表者	神山	経理責任者	大野			
出張先	東京都日野市(日野市議会)、東京都台東区(国際子ども図書館)								
用務	日野市発達・教育支援センターについて、国際子ども図書館について(施設見学)								
期間	令和2年1月27日(月)～1月28日(火) 2日間								
出張者名	神山 哲太郎 大西 厚子 大野 正和 計 3 名								
概算・精算金額	111,900 円		精算金額	円					
			差 額	円					
上記金額を概算・精算旅費として受領しました 受領年月日 令和2年 2月 3日			大野	上記金額を精算しました 精算年月日 平成 年 月 日		印			
旅 費 内 訳 書									
月・日	発着地		宿泊地	航空又は車賃		鉄 道		日 当	宿 泊
	種別	料金	キロ	運賃	特急				
1月27日	苫小牧	新千歳空港			29.8	660		3,000	
	新千歳空港	羽田空港	バック	24,200					
	羽田空港	東京	モ	660					
	東京	日野	日野市		40.8	730			
1月28日	日野	東京			40.8	730		3,000	
	東京	羽田空港	モ	660					
	羽田空港	新千歳空港							
	新千歳空港	苫小牧			29.8	660			
									食事代 3,000
小 計				25,520		2,780	0	6,000	3,000
合 計				37,300 円 × 3 名 = 111,900 円					
備 考 宿泊は1泊0食付き。									
※宿泊・航空賃以外は、苫小牧市旅費規定に準じて算出しています。									

(様式 5)

支 出 伝 票

使用科目	調査研究費	会派代表者	伊 賀	経理責任者	太 田	整理番号	16
領収証 別紙							
事業名、使途及び内容等 令和2年1月27日(月)～1月28日(火) 東京都日野市(日野市議会)、東京都台東区(国際子ども図書館)日野市発達・教育支援センターについて、国際子ども図書館について(施設見学) パック料金 航空運賃及び宿泊代 24,200円×3名分=72,600円 宿泊は1泊0食付き							
備考							

領 収 書

発行: No.AJP0000766391

表示日: 2019年12月27日

下記、正に領収いたしました。

宛 名 公明党議員団
様

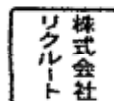
金 額 ￥72,600—
※但し、航空券代・宿泊代等として(クレジットカード決済)

予約番号 AJP2A3G1C7

旅行期間 2020年01月27日 ～ 2020年01月28日

決済日 2019年12月19日

※本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。



株式会社 リクルート

〒100-6540

東京都千代田区丸の内1-9-2グラントウキョウサウスタワー

(様式 3)

政務活動（参加・**実施**）報告書

令和 2 年 2 月 3 日

会 派 公明党議員団

参 加 者 神山 哲太郎



政務活動先 (目的地)	東京都日野市（日野市議会）東京都日野市神明 1 丁目 12 番地の 1 東京都台東区（国際子ども図書館）東京都台東区上野公園 12-49				
開催団体等					
政務活動期間	令和 2 年 1 月 2 7 日（月）～ 1 月 2 8 日（火）				2 日間
政務活動項目 (名称等)	日野市発達・教育支援センターについて 国際子ども図書館について（施設見学）				
政務活動参加者	神山哲太郎	大西厚子	大野正和		
					計 3 名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	《日野市発達・教育支援センター「エール」について》 ○エール（日野市発達・教育支援センター）は、平成 26 年 4 月に開設。0 歳から 18 歳までの、発達面、行動面、学校生活面において支援を必要とする子ども、子どもの育ちについて不安のある保護者、関係機関に対し、福祉分野と教育分野が一体となって切れ目のない支援、総合的な相談や支援を実施している。 ○エール開設までの経過 既存の障害児通所施設の老朽化により、再編のための検討を開始。平成 21 年「障がい者保健福祉プラン」で、（仮称）発達支援センターの設置を盛り込む。平成 22 年に「（仮称）日野市発達支援センター基本計画書」を策定。切れ目のない支援体制についての検討委員会を設置し切れ目のない支援体制について検討。平成 24 年に福祉と教育の連携体制を検討する会議を設置。福祉と教育が一体となった支援ができる施設にすることが決定。開設に至る。 ○エールの特徴は、①発達や教育に係わる相談をわかりやすくするため、窓口を一体化し、センター内に発達支援課と教育支援課を開設。②福祉と教育の連携による切れ目のない支援を実施。③多様な専門職（心理士、言語聴覚士、作業療法士、保健師、就学相談員、特別支援教育総合コーディネーター、スクールソーシャルワーカー（SSW）など）による総合支援を実施。 ○エールの組織体制は、①健康福祉部発達支援課と教育委員会教育部教育支援課を設置。②両課の調整のためにセンター長を配置。市				

長部局、教育委員会(教育部参事)の併任辞令により、福祉と教育を調整。③相談を担当する保健師・心理士は、両課の併任辞令により総合的な支援のしくみとする。

○組織・人員体制は、センター長の元に発達支援課と教育支援課を置き、センター長は発達支援課長を兼務。発達支援課には、発達支援係と通園係を設置。発達支援係は、係長、保健師(3名)、心理士(1名)、社会福祉士(1名)、事務職(2名)。通園係は、保育士・指導員(7名)。計15名の人員体制。教育支援課は、特別支援教育・教育相談係として、係長と事務職の3名の人員体制である。

○エールでは、福祉と教育の総合的な相談支援体制を組み、発達・教育支援システムで、カルテ(かしの木シート)を福祉と教育で一本化して情報を共有している。センターの総合相談受付では、保健師、臨床心理士が、保護者や関係機関より相談を受け、適切な相談担当や必要な支援につないでいる。具体的には、就学相談、心理相談、医師、保健師による相談、SSW(学校)、巡回相談(各施設)など。

○エールで実施している事業は、①相談事業として、心理士による心理相談、保健師による一般相談、専門医による医療相談、特別支援学級や特別支援学校への就学・進学相談。障がい児相談。②支援事業として、通園事業、乳幼児健診後のホログループの支援、集団専門指導、集団トレーニング、巡回相談、ソーシャルワークの支援、一時預かり、保護者交流。③学校への特別支援教育の事業は、特別支援学級、特別支援教室、リソースルーム(学習の保健室)、日野スタンダード(包み込むモデル授業のユニバーサルデザイン化)などを行っている。

○かしの木シートについて

発達・教育支援システムでカルテとして福祉と教育を一本化して情報を共有するために、かしの木シートを作成。エール総合相談受付で、かしの木シートに同意した保護者に、個人情報同意書を記入してもらい作成。福祉と教育が一体となった「個別の支援計画」である。内容は、子どもの成長記録やサポート内容を1年ごとに1枚のシートにまとめ、保護者同意の上で記録し保存、引継ぎ、エール・保育園・幼稚園・小中学校・学童クラブ・高等学校の関係機関で共有し、切れ目のない支援に活かしている。発達・教育支援システム、かしの木シートの拠点は78箇所。かしの木シートの作成状況は、平成31年3月31日現在、1,613人。小中学生は、教育支援計画と統合している。

○所感

福祉と教育が一体化した体制で運営されているエールの取り組みは非常に参考になる取り組みであった。また、0歳から18歳までの支援を必要とする子どもの切れ目のない支援のための、発達・教育支援システム、かしの木シートの取り組みも先進的な取り組みとして大いに参考になった。

	《国際子ども図書館について》 ○国際子ども図書館の概要 国際子ども図書館は、国立の児童書専門図書館である。役割として、①児童書専門図書館として、日本や外国の子どもの本を集めて、調べものに役立てること。②子どもと本のふれあいの場として、全ての子どもに図書館や読書に親しむきっかけを作ること。③子どもの本のミュージアムとして、子どもの本の魅力を紹介すること。 子ども国際図書館の建物は、明治39年に帝国図書館として建てられ東京都の歴史的建造物に選ばれているレンガ棟と、平成27年にできた、全体がカーブを描いているアーチ棟からなっている。 レンガ棟には、小学生までの子ども向けの、読み継がれてきた絵本や物語や知識の本がある「子どものへや」。世界のいろいろな国や地域を紹介する本がある「世界を知るへや」。中高生の調べものに役立つ本がある「調べものの部屋」。明治から現代までの日本の子どもの本の歩みをたどる、常設の展示室「児童書ギャラリー」。「本のミュージアム」では様々なテーマで子どもの本を紹介する展示会が行われている。「おはなしのへや」では、毎週土曜日に、子どものための「おはなし会」を実施している。ホールでは国際子ども図書館の歴史を紹介する展示のほか音楽会などのイベントも行われ、ラウンジでは、ガラスのカーテンウォールに囲われたスペースで創建時の外壁や建具を見る事ができる。 アーチ棟には、「児童書研究資料室」があり、児童書について研究するための参考資料や、現在使用されている教科書が開架されている。また書庫にある資料も請求すれば利用できるようになっている。 ○所感 歴史的建造物である建物と近代的な建物が複合した素晴らしい施設で、所蔵の豊富な児童書や専門的な児童書研究の資料など、大変に充実している様子を見学できた。一人でも多くの子どもたちと児童書研究者のために、このような環境が拡充していければと感じた。
資料名(会派保管)	・「エール 日野市発達・教育支援センター」 ・「かしの木シート」 ・「ようこそ！国立国会図書館 国際子ども図書館へ」

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--

(様式4)

旅 費 支 払 伝 票

整理番号

17

令和元年度	支出科目	調査研究費	会派代表者		経理責任者					
出張先	茨城県笠間市(笠間市議会事務局)									
用務	タブレットの導入について									
期間	令和2年1月30日(木) ~ 1月31日(金) 2日間									
出張者名	池田 謙次									
計 1 名										
概算・精算金額	45,120 円		精算金額	円						
			差 額	円						
上記金額を概算・精算旅費として受領しました 受領年月日 令和2年 2月 7日				上記金額を精算しました 精算年月日 平成 年 月 日		印				
旅 費 内 訳 書										
月・日	発着地		宿泊地	航空又は車賃		鉄 道			日 当	宿 泊
				種別	料金	キロ	運賃	特急		
1月30日	苫小牧	新千歳空港				29.8	660		3,000	
	新千歳空港	茨城空港		ヒ	12,070					
	茨城空港	水戸		バス	1,050					
	水戸	友部	笠間			16.5	330			6,300
1月31日	友部	水戸				16.5	330		3,000	
	水戸	茨城空港		バス	1,050					
	茨城空港	新千歳空港		ヒ	15,170					
	新千歳空港	苫小牧				29.8	660			
										食事代 1,500
小 計					29,340		1,980	0	6,000	7,800
合 計				45,120 円 × 1 名 = 45,120 円						
備 考 宿泊は1泊1食付き。										
※宿泊・航空賃以外は、苫小牧市旅費規定に準じて算出しています。										

(様式5)

支 出 伝 票

使用科目	調査研究費	会派代表者	経理責任者	整理番号	17
------	-------	-------	-------	------	----

2020年01月31日

領 収 書

一連No003748
領収No004114

公明党議員団様

¥6,300-

(但し として
正に領収致しました)

収入印紙

茨城県笠間市友部駅前3-14
TEL: 0296-77-1230
ビジネスホテル あさひ

印刷面を内側に折って保管願います

事業名、使途及び内容等

令和2年1月30日(木)～1月31日(金)

茨城県笠間市(笠間市議会事務局)タブレットの導入について

ビジネスホテル あさひ 宿泊代金 6,300円×1名=6,300円 宿泊は1泊1食付き

備考

(様式 5)

支 出 伝 票

使用科目	調査研究費	会派代表者	神	経理責任者	野	整理番号	17
------	-------	-------	---	-------	---	------	----

■ご利用便の領収書

 SKYMARK AIRLINES		ID772E 2020年1月23日/23JAN2020
領収書 RECEIPT		
宛名 RECEIVED FROM	公明党議員団	様
金額 THE SUM OF	¥ 27,240 -	税込み TAX INCLUDED
但し、旅客運賃・料金として上記の金額を正に受領いたしました。 The above amount was received with thanks as a travel fare/fee.		
お支払い方法 PAYMENT METHOD	現金・クレジットカード・その他お支払いを含みます。 Includes payments by cash, credit cards, and others.	
本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。 This is an electronic display of receipt data.		スカイマーク株式会社 Skymark Airlines Inc.

事業名、使途及び内容等

令和2年1月30日(木)～1月31日(金)

茨城県笠間市(笠間市議会事務局)タブレットの導入について

航空券代金 27,240 円×1 名=27,240 円

備考

(様式 3)

政務活動（参加・**実施**）報告書

令和 2 年 2 月 5 日

会 派 公明党議員団

参 加 者 池田 謙次



政務活動先 (目的地)	茨城県笠間市（笠間市議会事務局）				
開催団体等					
政務活動期間	令和 2 年 1 月 3 0 日(木) ～ 1 月 3 1 日(金)			2 日間	
政務活動項目 (名称等)	タブレットの導入について				
政務活動参加者	池田 謙次				
					計 1 名
全体参加者数					
政務活動の目的・結果等の概要・所見	笠間市議会では、議会改革の一環として、会議の効率化と経費削減を図ることを目的に、平成 27 年度から議会運営委員会において検討を開始。平成 28 年度にはタブレット準備委員会を設置しながら運用の方法やシステム選定などを執行機関と共に進め、平成 30 年から導入がスタートしています。 タブレットの導入については、私が議長時代に「議会改革」の一環として掲げ、現在、苫小牧市議会としても、導入に向けて検討を進めている最中でもあり、いち早く導入している自治体を視察して参りました。実際にタブレットを使用し細かく説明を受けました。 ① タブレット導入は、ペーパーレス化を推進する事による経費削減、印刷費の経費削減になる。また、職員の方々の議員への連絡・アプローチなどの時間や人件諸費の削減など、諸々の経費削減につながる。 ② 導入当初はタブレット自体の購入費の他、日々のランニングコストを考えると、経費的には合わないが、投資として考えて減価償却を。 ③ 実際に、いろいろな書類のペーパーレス化はとても便利だが、議会での使用時の「他使用禁止」など、個々のルール化が大事である。 ④ タブレットでの、文章作成など、別有料アプリの使用規定など、詳細のルール化は絶対不可欠である。 ⑤ 今後の課題は、タブレットの使用範囲の規定や、事務局との連				

	絡方法の明確化や、IT が苦手な議員さんへの対応、使用にあたってのルール化など。 多々、勉強になり、今後の苫小牧市での導入に向けて大いに参考にし、活かしていきたいと思います。	
	資料名（会派保管）	・ 笠間市議会概要

会派内回覧								
-------	---	---	---	---	--	--	--	--

(様式5)

支 出 伝 票

使用科目	資料作成費	会派代表者	⑧	経理責任者	⑧	整理番号	18
------	-------	-------	---	-------	---	------	----

発行日:2020年02月07日

領収書

管理No. 1041-407-0005316

伝票No. 1041-407-104611

公明党議員団

様

¥26,800— (内消費税 ¥2,436)

但し 印刷機 代として。

支払内訳
見金

¥26,800

10%対象

¥26,800(内消費税 ¥2,436)

上記の金額正に領収いたしました。

株式会社ヤマダ電機
群馬県高崎市栄町1-1印紙税申告納
付につき高崎
税務署承認済

※印刷面を内側に折って保管願います。

事業名、使途及び内容等

会派控室で資料作成のために使用する事務機器(印刷機)

印刷機 26,800 円(内消費税 2,436 円)

備考

苫小牧市議会政務活動費に関する取扱要領第4条第5項第4号により按分 2分の1

26,800 円 $\times 1/2 = 13,400$ 円